

幌加内町令和3年予算審査特別委員会 第2日目

令和3年3月10日（水曜日）

○出席委員（9名）

委員長	7番	中村雅義	君	副委員長	2番	市村裕一	君
副委員長	8番	小関和明	君		1番	中川秀雄	君
	3番	中南裕行	君		4番	藤井祐	君
	5番	稲見隆浩	君		6番	蔵前文彦	君
	9番	小川雅昭	君				

○欠席委員（0名）

○出席説明員

町長	細川雅弘	君
副町長	大野克彦	君
教育長	小野田倫久	君
総務課長	村上雅之	君
地域振興室長	新江和夫	君
産業課長	中河滋登	君
建設課長	宮田直樹	君
住民課長	山本久稔	君
保健福祉課長 診療所事務長	竹谷浩昌	君
会計管理者	蔵前裕幸	君
総務課主幹	椿英万	君
総務課主幹	安藝修	君
総務課副主幹	加藤美幸	君
総務課長 財政係長	高木敏光	君
総務課長 管財係長	丹波洋	君
総務課長 防災係長	菊地宏	君
地域振興室 企画調整係長	伊藤宗徳	君

地域振興室 地域振興係 主事	梅	津	孔	希	君
住民課補佐	岩	本	美	佐江	君
住民課主幹	塚	田	裕	紀	君
建設課主幹	山	田	英	樹	君
建設課主幹	高	田	英	樹	君
建設課管理係 主査	飯	沼	剛	史	君
農業委員会 事務局局長	清	原	吉	典	君
保健福祉課 副主幹	伊	藤	理	加	君
保健福祉課 副主幹	北	村	康	栄	君
保健福祉課 すこやか係 保健係長	宮	内	智	子	君
保健福祉課 介護保険係 長	北	村	卓	也	君
保健福祉課 あんしん係 介護係長	小	本		剛	君
診療所 庶務係長	相	澤	雅	彦	君
教育次長	内	山		涉	君
学務課長	柏	原		潤	君
社会教育課長	加	藤	洋	恵	君
学校給食 センター所長	竹	脇		剛	君

○出席事務局職員

事務局 長	加	藤	誠	一	君
書記	岡	田	由	美	君

開議 午前8時55分

◎開議の宣告

○委員長（中村雅義君） ただいまの出席委員数は9名であります。定足数に達しておりますので、直ちに予算審査特別委員会を開きます。

◎議案第15号～議案第21号

○委員長（中村雅義君） 昨日に引き続き議案第15号 令和3年度幌加内町一般会計予算の説明と質疑を行います。

住民課所管の2款総務費、3款民生費、4款衛生費、8款土木費を一括して審査を行います。

説明をお願いします。

住民課長。

○住民課長（山本久稔君） おはようございます。それでは、住民課所管分の説明を行います。

2款から始まりますので、81ページをお開きください。81ページ、2款1項5目財産管理費になります。予算額2,722万7,000円、このうち住民課分につきましては134万2,000円となります。対前年比1万9,000円の増となっております。この目につきましては、交通安全車及び町有賃貸住宅の維持管理に係る経費が入っております。その他特に説明はございません。

次、2款1項9目に参りますので、85ページ、86ページお開きください。85ページに参ります。9目地域振興費、予算額3,466万3,000円、このうち住民課分につきましては1,464万5,000円となります。対前年比23万9,000円の増となっております。上のほうから参りまして、10節、11節及び12節の除雪業務委託料、ここまですべては朱鞠内及び添牛内のコミュニティ公園に係る経費となっております。12節委託料の2行目、テレビ中継局保守点検業務委託料、江丹別峠にありますテレビ中継局の委託料となっております。また、これに関わります電気料としまして、10節に戻りまして電気料の中にテレビ中継局分が27万6,000円ほど入っております。委託料に戻りまして、3行目、バス停留所維持管理業務委託料、これにつきましては政和の待合所の分としまして自治区に交付してございます。12節の下2つ、コミュニティ公園管理業務委託料43万2,000円及びその次のコミュニティ公園浄化槽点検清掃業務委託料、これにつきましては朱鞠内及び添牛内のコミュニティ公園となっております。13節、下のほうになります。路線バス回数券250万円でございますが、路線バス促進事業に関わる助成要綱を令和5年までの助成期間としてございます。65歳以上及び幌加内高校の生徒を対象としているところでございまして、2,500冊分を予算計上してございます。下から2つ目になります。バス停留所維持助成金90万円でございます。11か所、9自治区へ助成してございます。18節、一番最後になります。路線バス定期

券購入助成金111万円でございます。これにつきましては、同じく路線バス利用促進に関わる助成要綱、これに基づいての助成となっております。予算措置としましては、高校生の通学分としまして深川方面へ17名、名寄方面へ3名、予算計上としてでございます。すみません。戻っていただきまして、18節の2行目、冬期生活除雪支援事業補助金700万円でございます。これにつきましては、個人の上限額40万円、これを14件、委託の上限額70万円、これを2件見込んで計16件で予算計上してございます。令和2年までの補助期間でございましたが、さらに令和3年度、4年度、2年間延長して助成を行うこととしているところでございます。この目については以上でございます。

次のページ、87ページ、88ページお開きください。12目、一番下になります。交通安全対策費、予算額221万7,000円、対前年比162万円の減でございます。減額の主な要因につきましては、令和2年度に整備しております霧立峠での交通安全対策機器の設置、感知式の回転灯とサイレン、これが170万1,000円でございます。これの減によるものでございます。このページは以上でございます。

次のページお願いいたします。89ページ、90ページになりますが、このページにつきましては18節の上から5行目になります。幌加内町高齢者安全運転サポート補助金10万円でございます。これにつきましては、新規事業となっております。町長の施政方針で述べましたとおりでございますが、現在国において執行中のサポカー補助金、これに引き続きまして後づけペダルの踏み間違い緊急発進抑制装置、この装備に対しまして町単独で補助を行うものでございます。補助額は装置設置の2分の1、上限2万円としまして、5件分を予算計上するものでございます。下から2つ目、チャイルドシート等購入費助成金6万円でございます。これにつきましては、乳幼児の交通安全対策と子育て支援対策としての助成でございますが、本年度につきましても上限額2万円、これの3件分を予算計上したところでございます。この目については以上でございます。

次に、2款2項1目に参りますので、91ページ、92ページ、お開きください。2項1目税務総務費、予算額185万円、対前年比4万4,000円の増でございます。この目については特に説明ございません。

次に、3項1目戸籍住民登録費、予算額95万4,000円、対前年比55万4,000円の増となっております。10節需用費、消耗品25万4,000円でございますが、印鑑登録証、これが在庫がなくなっておりまして、300枚の作成ということで11万円の増となっております。次のページお願いいたします。18節の下のほうになります。個人番号通知等関連事務委任交付金52万3,000円でございます。国の通知によるものでございまして、ここで40万1,000円の増となっております。

以上で2款、終了いたします。

次に、3款に参ります。101ページ、102ページお願いいたします。3款1項1目社会福祉総務費、予算額7,992万9,000円、このうち住民課分としましては354万5,000円、対前年比104万3,000円の増でございます。18節の真ん中辺りに

防犯灯設置費補助金151万8,000円がございまして、これは、自治区要望の取りまとめによるものでございまして、ここで103万6,000円の増となっております。このページは以上です。次のページをお願いいたします。27節繰出金、国民健康保険特別会計繰出金1,384万9,000円、87万9,000円の減でございまして、内訳としましては、事務費682万4,000円、保険基盤安定軽減分300万9,000円、保険基盤安定の支援分ですね、これが206万1,000円、財政安定化支援事業39万6,000円、出産育児一時金28万円、短期人間ドック補助金9,000円、単独事業32万9,000円の内訳となっております。この目の説明は以上でございまして。

次に、107ページ、108ページをお願いいたします。3款1項4目国民年金費、予算額1万5,000円、前年同額であります。この目については特に説明ございません。

5目医療給付費、予算額733万8,000円、対前年比120万円の減でございまして、19節扶助費になりますが、重度心身障害者医療費365万9,000円でありまして、平成30年度、令和元年度の実績及び令和2年度の実績見込みを基に予算計上してございまして、対前年比37万3,000円の減となっております。次のひとり親家庭等医療費30万円につきましては、入院費を含めた見込額を予算計上しておりまして、前年同額であります。その次の乳幼児等医療費312万4,000円につきましても、平成30年度、令和元年度の実績及び令和2年度の実績見込みを基に予算計上しており、対前年比79万6,000円の減となっております。未熟児養育医療費10万円につきましては、前年同額でございまして。

6目後期高齢者医療費、予算額3,781万8,000円、対前年比203万7,000円の減であります。18節、療養給付費負担金2,592万2,000円でありまして、対前年比202万7,000円の減となっております。これにつきましては、後期高齢者への給付見込額の12分の1を一般会計で負担するものでございまして、広域連合からの通知された額を予算計上してございまして、続きまして、27節繰出金、後期高齢者医療特別会計繰出金1,189万6,000円でありまして、対前年比1万円の減となっております。内訳としましては、事務費22万1,000円、健診事業分38万1,000円、後期高齢者医療広域連合事務費分としまして170万円、保険基盤安定分959万4,000円となっております。

以上で3款の説明を終わります。

続いて、4款に入ります。117ページ、118ページをお願いいたします。4款1項4目になります。診療所費、予算額1億816万2,000円、このうち住民課分が82万7,000円となっております。対前年比2万5,000円の減でございまして、この目につきましては、患者輸送車、いわゆる住民バスですね、これの維持経費を計上しているところでございまして、説明については特にございせんが、10節需用費、11節役務費に予算が入ってございまして。

次の目に入りますので、次のページをお願いいたします。119ページ、120ページに

なります。5目環境衛生費、予算額1,213万2,000円、対前年比474万3,000円の増であります。このページにつきましては特に説明ありません。

次のページをお願いいたします。121ページ、122ページになりますが、17節備品購入費の特殊自動車購入費573万2,000円でございます。これにつきましては、町長の施政方針でも申し上げましたとおり、霊柩車の更新に係るものであります。現在町所有の霊柩車につきましては、平成10年に購入、走行距離は2万2,500キロ程度でございます。購入から22年を経過したところで、老朽化については進んでいるというふうになっておりまして、あと現在のひつぎの種類、大きさによっては現在の霊柩車には搬入庫に収められない事象も発生しているというところでございます。このたびワンボックスのワゴン車にひつぎ専用の架台を設置しまして、プラス親族数名も乗車が可能な車両の整備として予算を計上したところでございます。次、18節、これの2行目になります。不良空き建築物等撤去促進事業補助金150万円であります。令和2年度をもって終了の予定でございましたが、冬期生活除雪支援事業と同様に2年間の延長を図るとしたものでございます。同じ補助内容でございまして、3件分の予算を計上したところでございます。この目は以上です。

続きまして、2項1目塵芥処理費でございます。予算額2億8,613万6,000円、対前年比2億2,015万4,000円の減でございます。令和2年度の当初予算におきまして、この目につきましては会計年度任用職員の報酬及び期末手当等を計上しておりますが、令和3年度におきましては14款職員給与費に移行しているところでございます。続きまして、12節委託料に参ります。一番下の行になります。最終処分場設置届出等作成業務委託料でございます。これにつきましては、14節工事請負費の工事に係る施工管理業務も含まれているものでございます。この委託料1,233万6,000円と、次のページをお願いいたします。124ページになりますが、工事請負費の3つになります。最終処分場浸出水処理施設機械設備工事5,231万2,000円、最終処分場埋立地造成工事1億1,752万7,000円、最後の最終処分場浸出水処理施設建築工事8,377万4,000円、これらにつきましては令和2年度に入札、契約を終了しておりまして、継続費となっております。令和3年度分の予算計上でありまして、最終年度となるものでございます。続きまして、18節ゴミ集積所設置費助成金となっております。これにつきましては、自治区要望取りまとめによるものでございまして、このたび2件分を予算計上しているものでございます。この目の説明は以上となります。

その下、2目し尿処理費、予算額863万3,000円、対前年比415万9,000円の減でございます。説明については特にございません。

次に、8款に参ります。149ページ、150ページをお願いします。8款4項1目住宅管理費、予算額2,418万1,000円、このうち住民課分が2,024万3,000円となります。対前年比688万4,000円の増でございます。10節需用費、これの一番下、特別修繕料406万8,000円でございますが、これにつきましてはアカゲ

ラとカタクリの蓄熱式暖房機、これの老朽化に伴いまして5台を新しく取り替えるもので、149万4,000円となっております。それと、あと特別修繕費としましてみずほ団地及びみゆき団地合わせて7棟14戸、これの屋根塗装257万4,000円を予算計上したところでございます。11節、12節の5行目までは特にございません。12節、一番下になりますけれども、住生活基本計画策定業務委託料165万円。次のページお願いします。一番上になります。公営住宅長寿命化計画策定業務委託料232万1,000円、この2つについてですが、両計画ともに平成24年度から令和3年度までの10年間の計画となっております。期間が切れることから次期計画を策定し、本町における今後の住宅環境の整備方針及び町有住宅の団地整備の方針を図るものでございます。なお、計画策定に係る経費の財源としましては国の社会資本整備総合交付金、歳入の13款になりますが、これとしまして歳出の45%を予算計上しているところでございます。この目の説明は以上となります。

続きまして、2目住宅建設費、予算額5,035万円、対前年比1,769万9,000円の増でございます。12節委託料、外壁アスベスト含有調査業務委託料83万6,000円でございます。公営住宅の解体を予定しております緑ヶ丘団地、これの1棟2戸につきましてアスベストの含有調査を行うもので、解体に係る経費の2分の1を財源としている国の交付金の活用に必要な調査でございます。次の14節工事請負費、町有住宅建設工事4,950万円でございます。朱鞠内地区に4戸の町有住宅をプロポーザル方式で整備を図るものでございまして、町長の施政方針でも述べたところでございますが、山村留学による世帯の増加や朱鞠内地区における住宅事情に対応するものでございます。以上で8款の説明を終わります。

これにて住民課、歳出の説明を終わらせていただきます。

以上です。

○委員長（中村雅義君） 説明が終わりましたので、これから質疑を行います。事項別明細書81ページから質疑を受けます。81ページ、82ページについて質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（中村雅義君） ページを飛びまして、85ページ、86ページについて質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（中村雅義君） 87ページ、88ページについて質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（中村雅義君） 89ページ、90ページについて質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（中村雅義君） 91ページ、92ページについて質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（中村雅義君） 93ページ、94ページについて質疑ありませんか。

(「なし」の声あり)

○委員長(中村雅義君) 次に、3款民生費、101ページから質疑を受けます。101ページ、102ページについて質疑ありませんか。

(「なし」の声あり)

○委員長(中村雅義君) 103ページ、104ページについて質疑ありませんか。

(「なし」の声あり)

○委員長(中村雅義君) ページを飛びまして、107ページ、108ページについて質疑ありませんか。

(「なし」の声あり)

○委員長(中村雅義君) 次に、4款衛生費、117ページから質疑を受けます。117ページ、118ページについて質疑ありませんか。

(「なし」の声あり)

○委員長(中村雅義君) 119ページ、120ページについて質疑ありませんか。

(「なし」の声あり)

○委員長(中村雅義君) 121ページ、122ページについて質疑ありませんか。

1番、中川委員。

○1番(中川秀雄君) 最終処分場の関係なのですけれども、一番下に埋立地残容量測定業務委託料と載っておりますけれども、新しい埋立地については多分来年度中に完成するのだと思うのですが、古いほうの埋立地はあとどのぐらい使える可能性はあるのでしょうか。

○委員長(中村雅義君) 住民課長。

○住民課長(山本久稔君) 12節、下から2つ目かと思います。この測定業務委託料につきましては、現在使っている埋立地の測定ということで、法に定めて毎年報告しなければならないということになってございます。質問にありましたとおり、現在建築しているのは令和3年度終了ということなのですけれども、あと二、三年は大丈夫というふうに見ております。しかしながら、今建設中のものがあと二、三年待つてからの稼働が可能なかどうかというのは、補助金の関係もありますので、今後道と協議が必要ということになってございます。我々としては、経費の面から考えますと、全部埋め終わってから次に入りたいというふうには考えているのですけれども、あと二、三年はもつだろうというふうには考えてはいるところでありまして、その辺の両方の稼働については効率よくやっていきたいと思っはいるのですけれども、その辺は補助の関係等で今後、特に令和3年度になってその辺は協議していかなければいけないというふうを考えております。お答えとしては、あと二、三年程度というふうを考えています。

○委員長(中村雅義君) そのほかに121ページ、122ページについて質疑ありませんか。

(「なし」の声あり)

○委員長（中村雅義君） 123ページ、124ページについて質疑ありませんか。

1番、中川委員。

○1番（中川秀雄君） あと二、三年はもつかもしれないということなのですが、それで今の工事でもやっておりますけれども、浸出水、汚水処理の関係なのですけれども、これまでのあれでは大体年間五百数十万円かけて管理業務を委託しておりました。それで、新しいものを使うようになれば、この観点がどうなっていくのでしょうか。

○委員長（中村雅義君） 住民課長。

○住民課長（山本久稔君） ただいまの質問ですけれども、現在の処分埋立地ですね、この水の検査というのは供用が終了しても、ちょっと記憶が怪しいのですけれども、10年だか15年は継続して調べていかなければいけないというのがありますので、この今の五百数十万円がそのままかかるとは考えていないのですけれども、そういう分で調査して汚水が大丈夫かどうかという経費というのは供用が終わった後年度も必要となってはきます。

○委員長（中村雅義君） 1番、中川委員。

○1番（中川秀雄君） 新しい処理場との関係なのですけれども、勝手な想像ですが、新しいほうの汚水処理の関係についても恐らく同じ業者が持つことになるかなと思うのですが、それで古いほうのやつはまだしばらくは管理はしなければならぬということなのですが、新しいほうの関係でいうとまだやっぱり同じ程度の処理業務委託料というのはかかっていくことになるのでしょうか。

○委員長（中村雅義君） 住民課長。

○住民課長（山本久稔君） その辺は、業者等の見積り等見てみないと分からないというのが実際のところなのですけれども、単純に考えますと、1か所500万円だとしたら、もう一か所500万円というふうには考えられると思いますが、現在の処分場の委託契約というのは実際のところは農業集落排水施設、あそこの委託業務と抱き合わせにして経費削減を図っているところがございます。ですので、500万円が2つだから1,000万円というふうには、我々もしたくないので、そういうように抱き合わせなりといういろんな経費削減方法を考えながらいかなければいけないというところもありますし、先ほど述べましたとおり両方並行して稼働させるとどうしても負担が大きくなるので、その期間もなくすですとか短くしていかなければならないというところを令和3年度に考えていかなければいけないなというふうに考えています。

○委員長（中村雅義君） 123ページ、124ページについて質疑ありませんか。

4番、藤井委員。

○4番（藤井 祐君） 処分場完成後なのですけれども、再度確認したいのですけれども、ゴミの分別について何か変わることとかあるのですかという確認なのですけれども。

○委員長（中村雅義君） 住民課長。

○住民課長（山本久稔君） 特に処分場建設に関しまして処分の分別等を変える必要というのはございません。現在のところ今やっている町の処分の分別というのを変える必要性

はないというふうに考えておりますので、今後とも適正に分別していただいて処分をしていきたいというふうに考えております。

○委員長（中村雅義君） そのほか123ページ、124ページについて質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（中村雅義君） 次に、8款土木費、149ページから質疑を受けます。149ページ、150ページについて質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（中村雅義君） 151ページ、152ページについて質疑ありませんか。

9番、小川委員。

○9番（小川雅昭君） 少し教えていただきたいのですが、2目の14節工事請負費、町有住宅建設工事、朱鞠内にプロポーザル形式で建てられるということなのですが、町の民間賃貸住宅建設事業との相違点はどういうことなのか。

○委員長（中村雅義君） 住民課長。

○住民課長（山本久稔君） ただいまの質問でございませけれども、今年度、令和2年度におきましては朱鞠内地区に民間賃貸住宅を建設したと。主な目的としましては、教員住宅に代わるものということが一番の目的だったかというふうに存じております。これに関しては、教員に対してまず入っていただきたいということを優先とするということかというふうに思っているところでございませけれども、今回町有住宅、俗に公営住宅と言うことが多いかと思うのですけれども、これにした理由につきましては、今回アオサギ団地から教員2名が賃貸住宅のほうに移られるというふうに教育委員会からのお話は受けてございます。アオサギ住宅が空いたりはするのですけれども、一方で現地、地元の朱鞠内地区におきますNPO法人等の雇用者の住宅ですね、これが以前から雇用したいのだけれども、住宅がないような話を再三受けてございます。一方のNPOではシェアハウスなりも用意したところでありますけれども、そのように一方では地元の雇用に対する住宅が不足しているというようなことがございます。

また、令和3年度におきましては、ちょうど教育委員会のほうの説明であったとは思いますが、現在の教員住宅1棟2戸ですね、これを改修して山村留学の留学してくる世帯を充てたいと。令和3年度の当初から募集を始めて、早ければ2学期、8月末か9月になるかと思うのですが、ここに2世帯入れたいということでございます。山村留学の見込みといいますか、計画では、令和4年度にもう二世帯を図りたい。3年度、4年度で4世帯ですね。2世帯については今年の教員住宅改修後にそこに入れる。4年度にもう二世帯増える、この住宅をどういうふうに用意するかというのが課題としてあるわけです。一方で、先ほど言いました地元雇用の分もあるということで、今回アオサギ団地が例えば空いた分については、地元雇用を優先して入れなければいけないのではないかとというふうに考えてございます。それで、山村留学の話が来まして、山村留学につきましては令和4

年度に2世帯増えたといいたします。学年にもよるのですけれども、プラス教員が増えるということも考えられます。教員もプラス2名ないし3名ということが考えられるということで、このようなことを考えていきますと、賃貸住宅よりも、このような施策で人間が増減するといえますか、募集しても必ずしも来るとは限りませんので、その辺が施策を誘導する意味では町の所有の住宅のほうがいろいろやりやすいというようなこともありまして、今回民間賃貸住宅はどうしても空きがあると気になってしまいますので、そちらではなく、公営住宅で対応していきたいというふうに考えるところです。それでももし空き住宅が出るようであった場合については、現在住まわれているみゆき団地等の方々にも声をかけて、高齢になっている方々もいますので、そのような方の移動等も含めて対応していきたいということで、施策絡みの理由が多いのですけれども、そのような感じで民間賃貸住宅ではなく町有住宅にしたいというふうに考えたところであります。

以上です。

○委員長（中村雅義君） ほかに151ページ、152ページについて質疑ありますか。
5番、稲見委員。

○5番（稲見隆浩君） 12節委託料、外壁アスベスト含有量調査業務委託料についてなのですけれども、今回緑ヶ丘のアスベスト調査するというので、その解体に対しては来年度以降という考えでよろしいのでしょうか。

○委員長（中村雅義君） 住民課長。

○住民課長（山本久稔君） 解体に関しましては、今令和4年度に解体したいというふうに考えてございます。これにつきましては、令和3年度に解体するというので、従来使わなくなったところは順次解体していくということなのですけれども、今年度に入りまして公営住宅等、公共施設の取壊しの際は事前にアスベスト調査をなささいというような国の通知等がございまして、解体のときに解体費用の半分でしたか、補助金が当たるのですけれども、アスベスト調査をしていないとその補助金が当たらないというようなこともありまして、致し方なくアスベスト調査をして、その翌年に壊したいということでございます。

○委員長（中村雅義君） ほかに151ページ、152ページについて質疑ありませんか。
（「なし」の声あり）

○委員長（中村雅義君） 2款、3款、4款、8款全般について質疑ありませんか。
3番、中南委員。

○3番（中南裕行君） プラスチックゴミについてお伺いしたいのですけれども、閣議でプラスチックゴミを削減という方針が示されました。ほかの町では、プラスチックゴミ分別しているところも結構あると思うのですけれども、うちの町は今後どのようになるのか、考えがあればお聞かせ願いたいと思います。

○委員長（中村雅義君） 住民課長。

○住民課長（山本久稔君） ただいまの件ですけれども、プラスチックゴミにつきましては、現在燃えるゴミとして分別いただき、収集後に焼却として処分しているところです。

昨今、国際的な海洋環境においてプラスチックの投棄による環境破壊が問題とされているところですが、国・道からこれらプラスチックゴミ類の分別・処理に関する新たな指導はありません。今後においても従来のとおり、燃えるゴミとして分別収集、焼却に至る処理として適切に対処する所存です。

○委員長（中村雅義君） そのほか住民課所管の全般について質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（中村雅義君） これで2款、3款、4款、8款の質疑を終わります。

以上で住民課所管の質疑を終わります。

暫時休憩します。

休憩 午前 9時37分

再開 午前 9時46分

○委員長（中村雅義君） 休憩を閉じて審査を続けます。

これから建設課所管、8款土木費、11款災害復旧費を一括して審査を行います。

説明をお願いします。

建設課長。

○建設課長（宮田直樹君） 建設課の所管予算についてご説明いたします。

歳出、145ページ、146ページをお開きください。8款1項1目土木総務費、本年度予算額258万8,000円、前年比129万9,000円の増額であります。大型複写機の更新及び期成会等の負担金の増が増額の要因となっております。12節、印刷機保守点検業務委託料25万6,000円及び次の行、印刷機導入業務委託料10万1,000円につきましては、この後17節備品購入費でも説明いたしますけれども、大型複写機の更新に係る保守点検業務と導入に係る搬送、設置等の委託料となっております。17節備品購入費80万4,000円につきましては、現在使用中の大型複写機につきましては平成22年に導入し、10年が経過しており、近年故障が頻発しております。また、修理部品等も既に生産されていないことなどから、新規に複写機を更新するものであります。

18節負担金、補助及び交付金、4行目、石狩川治水促進期成会負担金11万5,000円、前年比7万4,000円の増、次の道治水砂防事業促進同盟負担金8万3,000円、前年比5万7,000円の増、これにつきましてはいずれも事業費割という負担区分が増加しているものでありまして、国並びに道が幌加内町におきまして事業を前年以上に実施したことから増額になったものであります。

2項1目道路橋梁維持費、本年度予算額1億9,955万6,000円、前年比3,544万9,000円の減額であります。減額の主な要因につきましては、会計年度任用職員の報酬が14款に移管されたこと、それから建設課車両の車検等の計画修繕が少ないこと、さらに除雪センター屋根塗装工事が皆減になったことによるものであります。10節、

次のページをお開きください。3行目、特別修繕料112万2,000円につきましては、昨年度に引き続き町道雨煙内線、町道側溝修理としてVトラフの一部交換工事及びトラフのアンカー止め設置35か所に係る必要経費を計上しております。12節委託料、4行目、町道除雪業務委託料として1億4,274万5,000円、前年比87万6,000円の減額となっております。減額の理由につきましては、業者委託における当初予算の積算につきましては過去3か年の実績の平均値を基礎として算出しております。令和2年度予算につきましては、平成28年度から30年の実績平均を、令和3年度の予算につきましては平成29年度から令和元年度までの実績平均を用いて算出しております。本年度算出の3か年平均実績が昨年の平均実績より下回ったことで稼働が減少するという設計になったことからの減額であります。同じく委託料、5行目、道路台帳修正業務委託料888万8,000円につきましては、現在使用しております道路台帳につきましては昭和55年に整備され約40年が経過し、図面の劣化等が進んでおります。また、昔ながらの墨塗り原図となっております、修正に伴う技術者の高齢化、それからデジタル化などにより技術者が不足している現状もございます。今回の道路台帳整備につきましては、これら全般に対応し得る劣化対策を兼ねたデジタル化の台帳を整備するものであります。現在町道につきましては、総延長約300キロメートル、275路線、道路台帳につきましては路線ごととなっております、縮尺1,000分の1の図面を約440枚ほどで管理しており、現有の道路台帳につきましては台帳以外での活用はほぼ皆無となっております。しかしながら、デジタル化を図ることにより台帳を面的に接合し、パソコンなどで管理できるようになり、さらに航空写真や地籍図への道路の形状、幅員、改修履歴などの情報を重ね、さらに水道や下水道等の位置や各種情報につきましても重ね多様に活用できるものとなります。今後簡易水道、それから下水道特別会計予算時にも説明いたしますが、今回につきましては道路台帳に合わせ水道、下水道台帳を一体的に整備することで予定しております。13節使用料及び賃借料、最終行、土地改良積算単価データ使用料5万2,000円、これにつきましては従来産業課で計上しておりましたが、単価データ使用料金を建設課へ移管したことによる増額であります。14節工事請負費、スノーポール移設工事184万8,000円につきましては、除雪対象外町道路線であります東九線から東四線へ28基を移設し、除雪作業及び通過車両の安全性を確保するものであります。

2目道路新設改良費、本年度予算額3億2,152万8,000円、前年比1億941万8,000円の増額であります。増額の主な要因としましては、橋梁長寿命化計画に基づく2巡目の橋梁点検業務、同じく橋梁の補修工事、それとは別に下幌加内線改良工事、町道側溝改修工事の実施に伴う増額となっております。12節委託料、橋梁点検業務委託料1,896万4,000円につきましては、橋梁点検2巡目として全体93橋中27橋の点検業務委託料としております。次の橋梁補修設計業務委託料902万円につきましては、はんざわ橋、帝白線橋、2橋の補修設計業務委託料となっております。次のページ、149、150ページをお開きください。14節工事請負費、橋梁補修工事としまして振

風橋、新富橋、東二線橋、新成生二号橋の4橋に係る工事費5,481万3,000円を計上しております。2行目、町道三丁目線側溝改修工事、これにつきましては市街地、相澤地先片側側溝、延長で約53メートル、511万5,000円。3行目、下幌加内線道路改良工事として路盤工、舗装工共に700メートルで1億9,600万円。町道側溝改修工事で緑ヶ丘公住東通り線舗装工事及び側溝改修工事として延長118メートルで2,523万4,000円、新成生東4線、宇野地先側溝改修工事、トラフ取替えほかで延長60メートル、763万4,000円の合計3,286万8,000円となっております。21節、補償費400万円につきましては、いずれも下幌加内線道路改良工事に係る支障物件の移転補償費となっております。

3項1目河川改修費、本年度予算額2,111万6,000円、前年比1,549万9,000円の増額であります。14節、河川維持補修工事費1,550万円が増額の要因でありまして、令和3年度につきましては弥運内川の雑木及び砂堆積除去を予定しております。

続きまして、4項1目住宅管理費、本年度予算額2,418万1,000円のうち建設課所管分につきましては、次のページをお開きください。151ページ、152ページ、18節負担金、補助及び交付金、3行目、住宅リフォーム補助金150万円につきましては、補助上限額を30万円とし、5件分の予算を計上しております。同じく4行目、持ち家建設促進奨励金550万円につきましては、昨年12月の議員協議会にて説明させていただいておりますけれども、さらなる定住促進施策の一環として奨励金額を増額しており、課税標準額の100分の20%以内を上限に一般住宅として基本額で200万円、プラス新築加算額として200万円、特別住宅加算額として北方型住宅で100万円、長期優良住宅で50万円を加算することとし、最高補助額550万円の1件分を計上しております。

5項1目簡易水道費、本年度予算額5,149万円、前年比699万1,000円の増額であります。27節、簡易水道事業特別会計繰出金で同額となっております。詳細につきましては、簡易水道事業特別会計の際にご説明いたします。

2目飲料水対策費、本年度予算額90万円、前年同額であります。18節負担金、補助及び交付金、飲料水施設改修補助金の通常分としまして同額の予算を計上しております。

6項1目下水道費、本年度予算額4,783万6,000円、前年比978万8,000円の増額であります。27節、下水道事業特別会計繰出金で同額、これにつきましても詳細は下水道事業特別会計の際にご説明させていただきます。以上で8款の説明を終わらせていただきます。

続いて、11款災害復旧費、183ページ、184ページ、これにつきましては災害発生時のための科目存置でございまして、前年同額の4,000円を計上しております。

以上で一般会計、建設課所管分の説明を終わらせていただきます。ご審議のほどよろしくお願いいたします。

○委員長（中村雅義君） 説明が終わりましたので、事項別明細書145ページから質疑

を受けます。145ページ、146ページについて質疑ありませんか。

(「なし」の声あり)

○委員長(中村雅義君) 147ページ、148ページについて質疑ありませんか。

(「なし」の声あり)

○委員長(中村雅義君) 149ページ、150ページについて質疑ありませんか。

3番、中南委員。

○3番(中南裕行君) 河川改修費についてお伺いしたいのですけれども、今年度は弥運内川というのは町長の施政方針でも出ていましたけれども、昨年度大通1丁目の元川を見させてもらって、あそこも水害が常につくということで予防はしておるのですけれども、その計画というのは来年度ぐらいには出てくるのかこないのかお聞かせ願いたいのですけれども。

○委員長(中村雅義君) 建設課長。

○建設課長(宮田直樹君) この河川維持補修工事につきましては、国の緊急浚渫推進事業という起債を使用し、工事を行う予定としております。これにつきましては、令和3年から6年までの時限立法の起債となっております。取りあえず昨年までの自治区要望の中で対象となる河川をリストアップさせていただいております。新年度になりまして早々に自治区長さんとその区間ですとか詳細を打合せさせていただき、今年度早々に6年度までの事業計画を立ててお示ししたいと思っておりますので、ご理解のほどよろしく願いいたします。

○委員長(中村雅義君) そのほかに149ページ、150ページについて。

1番、中川委員。

○1番(中川秀雄君) 同じく河川改修の関係なのですけれども、先ほど弥運内川の改修を今年行うということで大変期待しております。

それで、結構あそこ長いですから、今年度の工事の計画、どこからどこまでやる予定なのでしょうか。

○委員長(中村雅義君) 建設課主幹。

○建設課主幹(山田英樹君) 答えいたします。

弥運内川の土砂撤去及び伐木につきましては、道道旭川幌加内線の橋梁より上流に約2,700メートルまで掘削及び伐木を予定しております。2,700メートルといいますと……

(「東4線越えて」の声あり)

○建設課主幹(山田英樹君) そうですね。東4線越えまして、そこから道路と河川と離れていく場所があるのですけれども、そのカーブのところまでと考えております。

(「零号……」の声あり)

○建設課主幹(山田英樹君) 弥運内零号越えて約1キロぐらいの通りまでを予定しております。

○委員長（中村雅義君） そのほか149ページ、150ページについて質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（中村雅義君） 151ページ、152ページについて質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（中村雅義君） 次に、11款災害復旧費、183ページから質疑を受けます。183ページ、184ページについて質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（中村雅義君） 8款、11款全般について質疑ありませんか。

9番、小川委員。

○9番（小川雅昭君） 1つ関連することでお聞きをしたいと思います。

雨竜川の改修のことについて建設課のほうでも取り組んでいただいておりますが、現在添牛内の初瀬尾橋までのところを計画を進めていただいておりますが、先ほども朱鞠内地区に住宅を建設するというようなお話がありましたが、現実的にハザードマップでも示されておるように、建設用地が余りないのです。そういうことで、過去平成26年の水害のときもそうだし、去年の11月20日の洪水のときも結構危険な状態になっておるということで、ハザードマップを無視するわけではないのですが、議会も陳情に行っておるわけなのですが、築堤を造るに当たって下流から造っていくのがセオリーなのでしょうが、人命、生命、財産に危害が多く発生するということで、朱鞠内市街地の築堤を併設してやっていただけるような、そういう陳情をしてはどうかと思っております。町長の公約の中でも山村留学というようなことがあります。我々もぜひそれを実現したいと思っておりますので、できればそういうことが可能なかどうかということをお聞かせいただきたいと。

○委員長（中村雅義君） 町長。

○町長（細川雅弘君） お答えになるかどうかは分かりませんが、今委員のおっしゃられたとおり、昨年の洪水は本当に融雪と一緒に降雨が相まって、添牛内地区では雨竜川の河川が計画高水位に迫ったということで、本当に堤防の越水はもとより、堤防の決壊等も心配をしたところでございます。そういった中、私どもは今調査をしております雨竜ダムの上流、これが実現できれば我々上流地域にとって一番恩恵があるということで、一刻も早くその点をお願いしたいということでありました。

昨年の洪水の内容を踏まえて、開発局札幌開発建設部の担当官がかなり動いていただきました。いわゆる事前放流も含めて、どういった連携が図れるかということで、国、そしてご案内のとおり雨竜川の上流は道費河川ですから道、それと北海道電力、そして余り大きな声では言えないのですが、雨竜ダムの水については9割が天塩川に流れるということで、天塩川水位の上昇にも放流が影響されるということで、そちらの河川の理解も得ないとなかなか放流ができないと。そういった複雑な事情が絡んでいる中、担当課に動

いていただきました。そういった中で、担当課自身、国自身が知らなかった事情等も少し見えてきたということで先般説明に来られたわけでございます。そういった中で、我々が地元地域として住民の皆さんに私説明責任があるので、そういった形で声を上げていけばいいのかということでご相談を申し上げました。そんな中で、今既存の期成会、各種あるのですけれども、そこで国、道、そしてあるいは天塩川のほうも同じような期成会を持っています。期成会、それと北海道電力、そういったものに対して、いわゆる今の気象予報はかなり発達しておりますので、事前に放流、これを迅速かつ的確にやっていただきたいといった、そういう文言を追加して今後活動をしていくということで一回話し合いを終えています。

その後、やはり私どもの声を上げるということで、1つの町村だけでなく、今言った多数の期成会、町村が集まって、そういった声を上げればかなり効き目があるのでないかというふうなアドバイスをいただいております。そういったことも含めて、地元の声としてこれから一生懸命声を上げてまいりたいというふうに思っております。

以上です。

○委員長（中村雅義君） このほかに8款、11款全般について質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（中村雅義君） これで8款、11款に関する質疑を終わります。

以上で建設課所管の質疑を終わります。

暫時休憩します。

休憩 午前10時11分

再開 午前10時24分

○委員長（中村雅義君） 休憩を閉じて審査を続けます。

これから産業課所管、2款総務費、5款労働費、6款農林水産業費、7款商工費の審査を一括して行いますが、6款農林水産業費については農業委員会所管の予算も含まれていることから、農業委員会所管予算も併せて審査いたしたいと思えます。

それでは、説明をお願いします。

産業課長。

○産業課長（中河滋登君） それでは、ご説明申し上げます。

予算書の歳出、83ページ、84ページをお願いいたします。2款1項8目町有林造成費、本年度予算額3,391万5,000円、前年度1,780万円、1,611万5,000円の増でございます。次のページをお願いいたします。12節、森林整備事業委託料2,093万8,000円ですが、3年度から整備いたしますほろたちスキー場周辺の皆伐9.66ヘクタール、それから継続となりますが、政和6線、旧高校の下刈り、野ネズミ対策に対する予算でございます。18節、道営林業生産基盤整備道開設事業負担金1,

200万円でございますが、これもほろたちスキー場周辺の整備道を実施するもので、工事600メートル、測量1,300メートルとなっております。町負担25%となるものでございます。そのほか特にございません。

続きまして、89ページ、90ページをお願いいたします。13目地方創生事業費でございます。地域振興室からも説明があったかと思いますが、産業課関係につきましては地域おこし協力隊分として既存の観光協会職員1名、それから新たに募集いたしますソバを原料とする蒸留酒の製作を目指して1名、それから幌加内振興公社への2名ということで、4名分の経費として1節の報酬から、次のページにかかりますけれども、18節負担金、補助及び交付金まで合算いたしまして824万3,000円の予算を計上しているところでございます。そのほか特にございません。

続きまして、97ページ、98ページをお願いいたします。2款7項2目経済対策費、本年度59万4,000円、前年度ゼロ、59万4,000円の皆増でございます。18節の新型コロナウイルス感染症経済対策補助金59万4,000円でございますけれども、これに関しましては緊急資金の借入れ者6件の利子補給分29万3,538円と新規に借入れを行った方が出た場合の保証協会保証料30万円を計上しているところでございます。そのほか特に申し上げることはございません。

少し飛んでいただきまして、125ページ、126ページをお願いいたします。5款1項1目労働費、本年度69万2,000円、前年度18万6,000円、50万6,000円の増でございます。18節で、これも地域振興室からお話あったかと思いますが、幌加内町ふるさとワーキングホリデー補助金50万円を計上してございます。ふるさとワーキングホリデーにつきましては、北海道内に居住する方が道内に一定期間滞在し、収入を得ながら地域住民と交流等を通じて町内での暮らしを体験するものであり、町内に事業所を有する受入れ事業者として町が認めた企業が受入れを行うシステムでございます。対象経費につきましては、交通費相当分として15日以上31日以下の場合は上限10万円、宿泊費につきましては1泊5,000円として参加者に支払うようになります。雇用保険、労災保険、任意保険は受入れ企業に支払う仕組みになってございます。事業に関しましては、現在想定しているのは町が指定管理をしている施設での受入れを対象と考えてございます。3年度につきましては、手挙げをいたしましたシュマリナイ湖ワールドセンターに2名分として交通費上限10万円の2名分20万円、宿泊費1泊5,000円で30日分の15万円の2人分で30万円、計50万円を計上し、希望者を募り募集者があった場合には各種保険等の条件を詰め、不足が生じた場合補正予算を計上することといたしております。関係人口の増加、また先行自治体ではワーキングホリデー体験後、実際にその自治体に就職したケースもあると伺っておりますので、積極的に取り組んでまいりたいと考えております。

次のページをお願いいたします。6款1項1目農業委員会費、本年度697万9,000円、前年度738万7,000円、40万8,000円の減でございます。この目につ

きましては、特に申し上げることはございません。

続きまして、2目農業総務費、本年度72万2,000円、前年度126万2,000円、54万円の減でございます。この減の理由につきましては、会計年度任用職員の人件費が14款に移行したことによる減でございます。そのほか129、130ページにかけてでございますけれども、例年どおりの事業予算ですので、特に申し上げることはございません。

続きまして、3目農業振興費、本年度1億9,933万円、前年度2億7,378万9,000円、7,445万9,000円の減でございます。予算の減の大きな理由は、昨年度色彩選別機増設事業補助金として7,611万1,000円を計上したものが皆減になっているところでございます。この目では、18節、上から4段目、中山間地域等直接払補助金、その3つ下になります環境保全型農業直接支払補助金、その下、多面的機能支払補助金は、令和2年度から令和6年度の5期対策期間中でございますので、面積の変動等により金額が増減しているということでございます。また、中ほどに農業振興奨励補助金3,000万円がございます。今回農協、それから土地改良区と話し合いをした中で、事業といたしまして営農対策推進事業において水張り面積を保持する上でも新たにケイ酸促進対策事業を設け、ケイ酸剤散布により病害虫への抵抗性の向上などの効果により良食味米安定生産を目指すこととして、原則主食用米作付面積対象320ヘクタールとしてかかった費用の2分の1、または反当たり1,000円の低い額で交付する方向で農協と詰めている段階でございます。予算額的には320万円を見ており、その分全体の中で農業機械導入事業費を減にするなど全体予算の調整をしているところでございます。そのほか、従前の全体メニューについては変更をしておりませんので、よろしくお願いたします。そのほか特に申し上げることはございません。

4目農地保有合理化事業費、前年度3万3,000円、本年度2万1,000円、1万2,000円の増でございます。この目については特にございません。

5目地力維持増進施設運営費、本年度557万8,000円、前年度633万3,000円、75万5,000円の減でございます。10節の修繕料につきましては58万2,000円ですが、ダンプ、タイヤショベルの車検代となっております。12節のバーク作業委託料については、野留部職員1名分で3年度はバーク堆肥が約160トン残っております。それ以降何とか売り切りまして、以降は汚泥脱水の堆肥として年間70から100トンということで作成をしていきたいと思っております。作業員につきましても、4年度に向けて住民課所管の最終処分場との兼務について協議をしてみたいと思っております。汚泥堆肥につきましては、まずは農業技術センターの試験圃場へ試験研究に使用する予定としているところでございます。次のページにかけてでございますが、特にございません。

6目農業技術センター費、本年度406万3,000円、前年度1,469万6,000円、1,063万3,000円の減であります。ここでの減の理由も会計年度職員の人

件費が14款に移行したことにより大きく減っているところでございます。昨年10月に農業関係者、議会議員の方で構成する在り方検討委員会を開催させていただきました。その中で令和3年度の研究事業を協議いただき、施政方針で申し上げましたが、従来の試験に加え畑における輪作体系が構築できないか、薬用植物のトウキ、シャクヤク、ハトムギを試験に加え、ソバの播種間隔を広くしてみるなど、生産者の皆様に少しでも情報提供できるように研究に取り組みたいと考えておりますし、次長につきましては米に精通している方でございますので、米農家へのアドバイスなども併せて考えているところでございます。年度途中には、各部会の役員と意見交換などをさせていただきながら、より農業技術センターの在り方について協議をしてまいりたいというふうと考えております。予算の内容につきましては、それらに係る事業費等の関係予算を計上しておりますので、細かな説明は省略させていただきます。

続きまして、7目農業担い手対策費、本年度47万7,000円、前年度と同額で増減はゼロでございます。この目について特に申し上げることはございませんので、次のページをお願いいたします。

8目経営所得安定対策費、本年度286万1,000円、前年度330万1,000円、44万円の減でございます。この目ですが、交付単価につきましては令和2年度から令和4年度まで変わらずというふうになってございます。18節の経営所得安定対策等推進事業補助金200万円につきましては、再生協への事務費としてのものがございます。そのほかは特にございません。

続きまして、9目畜産費、本年度39万6,000円、前年度51万2,000円、11万6,000円の減でございます。この減の主な理由でございますけれども、12節で下段の畜産パーク除雪業務委託料、この回数を2回から1回に減らしたことにより減になっているところでございます。そのほかは特に申し上げることはございません。

10目農業金融対策費、本年度40万9,000円、前年度41万9,000円、1万円の減でございます。18節、農業振興資金利子補給補助金34万1,000円でございますが、対象者26件プラス新規想定で2件、償還完了1件として予算を計上しているところでございます。そのほかは特にございません。

11目農業活性化センター運営費、本年度1,135万3,000円、前年度1,125万4,000円、9万9,000円の増でございます。次のページをお願いいたします。この目では、10節の特別修繕で100万4,000円でございますが、洗浄付便座取付けを男子トイレ2か所、女子トイレ2か所、多目的トイレ1か所の計5か所実施する予算を計上してございます。14節で農業活性化センター屋根塗装工事199万1,000円、これにつきましては建設当時の平成10年度以降塗装しておりませんので、修繕計画に基づきまして実施するものでございます。そのほか特にございません。

続きまして、12目土地改良施設維持管理費、本年度832万2,000円、前年度769万9,000円、62万3,000円の増でございます。増の理由といたしましては、

12節の委託料、5委託事業がございますけれども、人件費等の微増により増となっているところでございます。そのほか特に申し上げるところはございません。

13目土地改良事業費、本年度6,238万円、前年度7,085万7,000円、847万7,000円の減でございます。18節で2段目の道営幌加内中部地区経営体育成基盤整備事業負担金625万円は、用水路61メートルを整備して事業終了となるところでございます。その下、道営幌加内北部地区担い手育成型基盤整備事業4,607万円でございますが、暗渠排水事業84.1ヘクタール、そのうち整地工20.4ヘクタールの事業の予算を計上しているところでございます。東部地区は2年度で終了いたしまして、先ほど申しましたとおり中部地区は3年度で終了となります。そのほか特に申し上げることはございません。

次のページをお願いいたします。6款2項1目林業費、本年度131万2,000円、前年度82万8,000円、48万4,000円の増でございます。この目では、12節、森林経営管理制度森林所有者意向調査委託料で53万6,000円ですが、令和2年度意向調査を実施した際に町に経営管理を委ねる意向を示した森林所有者の所有林の現地調査を行うものでございます。この部分が増の主な要因となっております。予算計上しておりますのは、10件20か所分でございます。財源につきましては、森林環境譲与税を充てることにしております。そのほか特にございません。

続いて、3項1目水産業振興費、本年度334万6,000円、前年度371万4,000円、36万8,000円の減でございます。この目では、18節、水産業振興奨励補助金236万9,000円でございますが、この中にごございます加工品製造の部分、従来100万円の予算を見ておりましたけれども、50万円に減額をして計上をしているところでございます。年度途中で新たな加工品制度などの事業が発生いたしましたら補正で対応するというようにしておりますので、ご理解のほどよろしくをお願いいたします。そのほか特にございません。

次のページをお願いいたします。7款1項1目商工振興費、本年度4,295万3,000円、前年度4,197万8,000円、97万5,000円の増でございます。この目では、18節の中段、プレミアム付商品券発行補助金1,200万円、これは従来の町が行う20%にコロナ禍で低迷する景気回復のために同事業で10%の上乗せ事業が継続になりましたので、30%のプレミアム事業を実施するもので、額面1万3,000円を1万円に4,000セットを2回に分けて販売する予定でございます。そのほか特に申し上げることはございません。

2目観光費、本年度1億1,492万7,000円、前年度1億1,784万7,000円、292万円の減でございます。この目では、8節で特別旅費39万9,000円、コロナの状況にもよりますが、幌加内そばの本州での知名度アップのために物産販売が中心となりますが、引き続き売り込みを継続してまいりたいと考えております。次のページをお願いいたします。12節、上から2段目のそばの里普及拡大事業委託料220万円で

ございますけれども、これにつきましてはそばの里大使上杉周大氏を招聘し、新そば祭り、ユーチューブでのPR動画撮影など、幌加内そばのPR関係予算でございます。道に申請、採択となった場合に実施する事業ということになってございます。また、一番下に幌加内そば販売促進ECサイト管理業務委託料107万円でございますが、ネット販売に力を入れたいということで、少しでも新規顧客の開拓を狙うものでございます。現在各業者でホームページを作成しているところではありますが、情報を一元化し、消費者から幌加内そばというページを設けますので、そのページに入っただけであればA社、B社、C社の製品が一度に見れる、そういったページのイメージでございます。注文等の各社の振り分けは、当初町が運営をすることといたしたいと思っております。それから、14節で町民保養センター屋内改修工事547万8,000円でございます。これにつきましては、内風呂内の改修などです。サウナ室ベンチ部分の改修、大浴場アルミドア、ガラス、床タイル、厨房横パントリーの床改修を行います。それから、17節備品購入費の公用車購入151万8,000円は、観光協会へ無償貸与している三菱デリカの取得の分でございます。その下、百年記念公園備品購入費95万8,000円でございますけれども、老朽化したベンチ、それから収納スペース確保のための機械収納のテント、また老朽化したので買い換えます乗用の芝刈り機を購入する予算を計上しているところでございます。18節で上から8段目になりますが、士別・和寒・剣淵・幌加内着地型観光推進協議会負担金75万円、この関係につきましては台湾への事業展開を3年度は取りやめ、国内事業だけとしてございますので、前年対比95万円の減となっているところでございます。その下、幌加内町観光協会補助金3,113万8,000円でございます。これは、コロナの状況によりますが、湖水祭りなどイベント等について当初予算では実施する方向で前年同額を計上しているところでございます。同様に、その下にありますイベント協賛交付金445万円、これにつきましてはこの中に新そば祭り支援の予算が含まれてございますが、これも同様に実施する予定での当初予算ということで計上をしているところでございます。そのほか特にございませぬ。

3目まどか運営費、本年度2,597万5,000円、前年度2,159万3,000円、438万2,000円の増でございます。14節でまどか厨房天井改修工事303万6,000円、これは経年劣化によりまして汚れが目立つための修繕を行うものでございます。その下の体験実習棟の天井塗装工事163万9,000円ですが、年明け早々休みの期間に2階宿泊室の洗面台の水道管のつなぎ目が外れました。そこから水が流れ出て、2階やや全体の各部屋に流出したところでございます。幸い管理者が早く気づきましたので、昼等につきましてはすぐに移動して乾かし、水につきましてもスポンジ等で吸うなどの手作業で対応しまして、2階には大きな被害は至りませんでした。隙間を伝わって流れた水により1階の天井に染みができてしまいましたので、それを修繕する工事でございます。管につきましては、ボイラーを常に回しておりまして、水を落とすこともなく管理していた状況でございます。経年劣化の漏水ということでございましたので、保険適用が

ならなかったということでこの工事費を計上しているところがございます。次のページをお願いいたします。次のページにつきましては特にございません。

以上で産業課所管の歳出の説明を終わります。ご審議のほどよろしくをお願いいたします。

○委員長（中村雅義君） 説明が終わりましたので、事項別明細書 83 ページから質疑を受けます。2 款総務費、83 ページ、84 ページについて質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（中村雅義君） 85 ページ、86 ページについて質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（中村雅義君） ページを飛びまして、89 ページ、90 ページについて質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（中村雅義君） 91 ページ、92 ページについて質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（中村雅義君） ページを飛びまして、97 ページ、98 ページについて質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（中村雅義君） 次に、5 款労働費、125 ページから質疑を受けます。125 ページ、126 ページについて質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（中村雅義君） 次に、6 款農林水産業費、127 ページから質疑を受けます。127 ページ、128 ページについて質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（中村雅義君） 129 ページ、130 ページについて質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（中村雅義君） 131 ページ、132 ページについて質疑ありませんか。

1 番、中川委員。

○1 番（中川秀雄君） 技術センターの関係なのですけれども、町長の施政方針にもありました。今年からシャクヤクやトウキ、ハトムギなどの、いわゆる薬用作物の栽培試験なり研究を行うということでもありますけれども、輪作体系の一環としてこういう作物に取り組むということなのですが、恐らくソバからの転換ということも視野に入っているのかと思うのですが、そうするとかなりの、かなりというか、一定の規模で栽培、作付がなされないと、そういう位置づけはなかなか難しいのではないかなと思うのですけれども、そういうことから見ますと、例えば全く今まで幌加内の中では余り取り組まれていなかった作物で、例えば需要、販路だとか、先ほど言いましたような栽培技術の面で少なげ今これなのかなという思いはあるのですけれども、その辺の展望はどのようにお考えなのでしょうか。

○委員長（中村雅義君） 産業課長。

○産業課長（中河滋登君） 今回この作物等を選んだのは、農業技術センターの次長ともよく話し合いをいたしまして、まず幌加内できそうなものということで、特に冬期シャクヤクにつきましては名寄市のほうにセンターがございまして、そちらに実際に技術センターの職員が出向きまして、十分勉強した上で幌加内町でももしかすると……。雪解けの面で少し名寄との差はあるのですが、それ以外の面で、気候面ですとか、そういう面で余り相違がないというようなことで幌加内での栽培が可能かどうか、そういったことを試験するためにこのような作物を選んで、事前に名寄市で。繰り返しになりますが、勉強もした上、また気候の条件なども十分照らし合わせた上で、まずこの作物に手がけてみるというような段取りで流れてきております。もしこれがうまくいけば、薬用植物ですので、ある程度名寄市さんでも販路というものはあるというようなお話も聞いておりますので、ぜひうまくいくようなことで前向きに考えてこの作業を進めていきたいというふうに思っておりますので、よろしくお願いたします。

○委員長（中村雅義君） そのほか131ページ、132ページについて質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（中村雅義君） 133ページ、134ページについて質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（中村雅義君） 135ページ、136ページについて質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（中村雅義君） 137ページ、138ページについて質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（中村雅義君） 139ページ、140ページについて質疑ありませんか。

5番、稲見委員。

○5番（稲見隆浩君） 観光費の7節、講師謝礼についてなのですが、アドバイザーの講師謝礼だと思うのですが、引き続き中谷さんにアドバイザーを頼んだということで、今回こういうふうに予算が上がっているということは何か目的があって呼ぶことがあるのかなと思うのですが、そういった具体的なことがあればお聞かせください。

○委員長（中村雅義君） 産業課長。

○産業課長（中河滋登君） 当初予算に14万円を計上させていただいているところですが、アドバイザーの中谷さんとまだ具体的なお話ができていないような状況でございますので、詰めた中で中谷さんに来ていただいてアドバイスを受けられるために当初予算に計上しているということでございまして、今稲見委員からありました質問の中で具体的に何のアドバイスのためとか、そういったところまでまだ決まっていないという状況でご理解いただければと思いますので、よろしくお願いたします。

○委員長（中村雅義君） そのほか139ページ、140ページについて質疑ありませんか。

んか。

(「なし」の声あり)

○委員長(中村雅義君) 次に、7款商工費、141ページから質疑を受けます。141ページ、142ページについて質疑ありませんか。

3番、中南委員。

○3番(中南裕行君) 保養センターの修理費についてお伺いしたいのですが、保養センターに関しまして昨年工事をやったばかりで、なおかつまた必要なのかお聞かせ願います。

○委員長(中村雅義君) 産業課長。

○産業課長(中河滋登君) 本来であれば、昨年度の改修の段階で全体的なものを終了させるべきですが、当時地方創生の拠点施設整備事業という事業を使いまして整備した中で対象とならなかった部分について今回予算を計上して改修をさせていただくことですので、ご理解を賜りたいと思います。

○委員長(中村雅義君) 6番、蔵前委員。

○6番(蔵前文彦君) そば活性化協議会の助成金についてお伺いします。

たしかこれ前年度なかったと思うのですが、そば活性化協議会への助成金を交付するに当たる部分での経緯が分かれば教えていただきたいと思います。よろしく願います。

○委員長(中村雅義君) 産業課補佐。

○産業課補佐(清原吉典君) 私のほうから回答いたします。

活性化協議会につきましては、昨年まで81万円の予算でございました。今回191万6,000円ということで主に今まで地域おこし協力隊でいました林さん、こちらを雇用するというのでの件数分の上乗せで191万6,000円ということになったところでございます。

以上です。

○委員長(中村雅義君) そのほかに141ページ、142ページについて質疑ありませんか。

(「なし」の声あり)

○委員長(中村雅義君) 143ページ、144ページについて質疑ありませんか。

(「なし」の声あり)

○委員長(中村雅義君) 2款、5款、6款、7款全般的に質疑ありませんか。

(「なし」の声あり)

○委員長(中村雅義君) これで2款、5款、6款、7款に関する質疑を終わります。

これで産業課所管の質疑を終わります。

暫時休憩します。

休憩 午前 11 時 05 分

再開 午前 11 時 15 分

○委員長（中村雅義君） 休憩を閉じて審査を続けます。

これより 2 款総務費、3 款民生費、4 款衛生費の審査を一括して行いますが、4 款衛生費については診療所所管予算も含まれていることから、診療所予算も併せて審査したいと思います。

それでは、説明をお願いします。

保健福祉課長。

○保健福祉課長（竹谷浩昌君） 97 ページ、98 ページ、2 款 7 項 5 目 ワクチン接種対策費の説明をいたします。本年度予算額 1,258 万 7,000 円、前年比同額の増となっております。この目につきましては、令和 3 年度実施の新型コロナウイルスワクチン接種に関わる経費を予算計上しております。まず 1 節、会計年度職員報酬 140 万 2,000 円についてであります。これについてはワクチン接種予約業務に関する受付事務、それから予防接種システムへの登録事務、接種時の受付業務、問診、介護などの事務に関わる職員の報酬として計上したものでございます。次に、7 節の報償費 40 万円についてでありますけれども、予防接種における健康被害が起きた場合に開催することになっております健康被害調査委員会、こちらの委員であります医師 4 名に支払う報償金 2 回分を予算計上しているところでございます。次のページお開きください。12 節の委託料の 2 段目になりますけれども、送迎業務委託料 121 万 8,000 円ですが、これについては会場までの足の確保、交通手段の確保ということで町内業者へ送迎業務を委託するための予算であります。次に、委託料の一番下段になりますが、ワクチン接種業務委託料 637 万 6,000 円についてであります。幌加内診療所へ支払う 2 回分のワクチン接種料金を予算計上しているところであります。この目については以上となります。

次のページお願いいたします。3 款 1 項 1 目 社会福祉総務費、このうち保健福祉課関係分についてご説明いたします。保健福祉課分の本年度予算額 6,253 万 5,000 円、前年比 368 万円の減となっております。1 節報酬から 11 節役務費まで特に説明はございません。12 節委託料の一番下段、福祉除雪業務委託料 572 万 7,000 円ですが、本年度 42 世帯分を予算計上したところであります。次に、18 節、上から 8 段目、外国人介護福祉人材育成支援協議会負担金 280 万円ですが、協議会の年会費 30 万円と学生に対する奨学金 250 万円、1 名分を予算計上したところであります。その下、6 段目、介護人材確保支援事業補助金 650 万 9,000 円ですが、現在の 6 名に新規を予定し、1 名分を予定して見込んで予算を計上したところであります。この目の説明は以上となります。

次のページをお願いいたします。2 目 老人福祉費、本年度予算額 1 億 71 万 3,000 円、前年比 456 万 2,000 円の増となっております。1 節報酬から 11 節役務費まで

は特に説明はございません。12節委託料の6段目、権利擁護センター運營業務委託料118万3,000円ではありますが、これについては土別市、剣淵町、和寒町と本町、1市3町で土別市の社会福祉協議会へ委託しております土別地域成年後見センターの運営費の本町の負担額となっているところであります。次に、14節工事請負費、朱鞠内老人福祉寮機械設備改修工事518万1,000円ではありますが、ボイラー、暖房機器等の改修工事でありまして、令和2年度実施を予定しておりまして、計上していたところでもございますけれども、新型コロナウイルス感染症の影響から改修を延期したもので、令和3年度に再度改修予算を計上したものでございます。次に、17節備品購入費、老人クラブ備品購入費27万5,000円ではありますが、朱鞠内コミュニティセンターの耐震改修工事に合わせて朱鞠内老人クラブの既存のガステーブル、冷蔵庫等を入れ替え、更新する予算を計上したところであります。次に、18節、次のページをお願いいたします。負担金、補助及び交付金の下から2段目、高齢者補聴器購入助成金ではありますが、身体障害者手帳の聴覚障害に該当しない65歳以上の高齢者で加齢による難聴者に対しての補聴器購入費の一部を助成するもので、購入費の2分の1～2万円を上限として本年度10名分を予算計上したところであります。事業初年度でありますので、10名分を予算計上しましたが、利用者不足が生じた場合には補正予算にて対応したいと考えているところであります。この目の説明は以上であります。

次に、3目障害者福祉費、本年度予算額5,345万3,000円、前年比231万3,000円の増であります。7節報償費、障害者福祉手当51万円ではありますが、1万円の51名分を予算計上したところであります。

次のページをお願いいたします。3目の説明は以上になりまして、下の段になりますが、7目保健福祉センター管理費の説明をします。本年度予算額3,246万2,000円、前年比62万5,000円の減であります。10節需用費の一番下段、修繕料の123万4,000円ではありますが、居室のクロス張り替え3室分46万7,379円、それから屋上防水部分補修に15万4,000円がこの主な内容となっております。次のページをお開きください。14節工事請負費、保健福祉総合センター屋根塗装工事251万9,000円ではありますが、保健センターの屋根5か所の塗装等の工事を予算計上したところであります。この目の説明は以上であります。

次に、2項1目児童福祉総務費、本年度予算額1,685万6,000円、前年比50万円の増であります。このページの説明は特にございませんので、次のページをお願いいたします。17節備品購入費9万5,000円ではありますが、これについては朱鞠内みゆき保育所の事務用の書類保管キャビネット、これの購入費でございます。次に、18節の2段目、保育人材確保支援事業補助金424万円ではありますが、既存の保育士、正職員8名、非正職員3名、新規の正規職員1名、非正規職員1名分を見込んで予算計上しております。これについては、幌加内、朱鞠内のそれぞれの保育所を合わせてでございます。次の副食費無料化事業補助金97万2,000円ではありますが、これについて

は国が実施した保育料無償化によりまして3歳児以上の副食費について保護者負担となったところでありまして、本町は従来どおり取り組んでいる保育料の無償化事業と同様に副食費について無料とし、その副食費分を保育運営事業所に対し補助するものでありまして、本年度は3歳児の18名分を予算計上しているところでありまして。

次に、2目児童扶助費、本年度予算額5,186万1,000円、前年比848万3,000円の減となっております。19節、保育所運営費4,043万4,000円でありまして、本年度27名分を見込んで予算を計上したところでありまして。

次の3項1目災害救助費につきましては、科目存置でありますので、説明は特にございませぬ。

以上で3款の説明を終わりました、次に4款衛生費の説明に入ります。次のページをお開きください。4款1項1目保健衛生総務費、本年度予算額382万2,000円、前年比9万4,000円の増であります。17節備品購入費10万円でありまして、これについては乳幼児用の体重計、これの機械体重計の更新ということで、本年度新たに購入をさせていただいて、更新するものであります。次に、18節の負担金、補助及び交付金の下から3段目になりますが、不妊治療費助成金85万円でありまして、不妊に悩むご夫婦の負担する人工授精等の一般不妊治療と体外受精などの特定不妊治療の治療費の一部の助成をするもので、一般不妊では1年間に5万円を限度とし助成、特定不妊では1回の治療につき15万円までということで助成することにしておりまして、それぞれ2名分を見込み予算を計上しているところでありまして。次の不育治療費助成金10万円でありまして、これについては不育に悩むご夫婦の治療に要する経費を負担することとしておりまして、上限10万円、1回分を見込み予算を計上しているところでありまして。この目の説明は以上であります。

次のページをお願いいたします。2目予防費、本年度予算額609万8,000円、前年比14万8,000円の増となっております。18節負担金、補助及び交付金の上から3段目、インフルエンザ予防接種助成金249万円でありまして、これについては過去の実績を基に延べ735人分を予算計上したところでありまして。その他例年どおりの予防事業でありますので、特に説明はございません。

次に、3目健康推進費、本年度予算額277万円、前年比23万2,000円の減となっております。18節の人間ドック受診助成金50万円でありまして、35歳以上の25名分を本年度予算計上したところでありまして。その他は特に説明はございません。

次のページをお願いいたします。4目診療所費、この目については診療所以外の予算も含まれておりますので、幌加内診療所ほかの関係予算についてご説明をさせていただきます。診療所関係の予算については、本年度予算額1億733万5,000円、前年比1,833万円の減と大きく減となっております。これについては、会計年度任用職員の報酬等が給与費のほうへ移動したことによる減が主な要因となっております。10節需用費の下から2段目、修繕料のうち診療所関係予算は113万9,000円でありまして、各診

療所の一般修繕料のほか、幌加内診療所の熱回収外調機の空調機でございますが、ろ材に不純物が付着することで5年に1回の交換の時期ということで19万8,000円計上したところでございます。次に、12節委託料の上から5段目、管理業務委託料のうち歯科診療所委託料、診療報酬分として910万円予算計上しております。前年比80万円の減となっているところであります。次に、13節、次のページをお開きください。13節の下から3段目になりますが、借家料100万8,000円でございますが、これについては研修医、それから大山ドクターが幌加内診療所勤務の際に使用するための借り上げている民間住宅2戸分の借家料であります。次に、14節工事請負費、歯科診療所機械室等配管更新工事266万9,000円でございますが、これについては歯科診療所のコンプレッサー操作盤等の更新ということで今回計上したものでございます。その他説明は特にございません。

以上で説明を終わらせていただきます。ご審議のほどよろしくお願いいたします。

○委員長（中村雅義君） 説明が終わりましたので、これから質疑を行います。事項別明細書97ページから質疑を受けます。97ページ、98ページについて質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（中村雅義君） 99ページ、100ページについて質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（中村雅義君） 次に、3款民生費、101ページ、102ページについて質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（中村雅義君） 103ページ、104ページについて質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（中村雅義君） 105ページ、106ページについて質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（中村雅義君） 107ページ、108ページについて質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（中村雅義君） 次に、109ページ、110ページについて質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（中村雅義君） 111ページ、112ページについて質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（中村雅義君） 次に、4款衛生費、113ページから質疑を受けます。113ページ、114ページについて質疑ありませんか。

5番、稲見委員。

○5番（稲見隆浩君） 保健衛生総務費の18節、不育治療費助成金についてなのですが、不育治療というのはどういうことをする治療なのかお教え願えますか。

○委員長（中村雅義君） 保健福祉課長。

○保健福祉課長（竹谷浩昌君） この治療については、生まれる前に育ちが少し遅い場合とか、そういう場合のための治療ということでかかった場合に助成をするということでございまして、令和元年度の実績、それから2年度では今のところはないということですが、そのような内容の助成金でございます。

○委員長（中村雅義君） そのほか113ページ、114ページについて質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（中村雅義君） 115ページ、116ページについて質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（中村雅義君） 117ページ、118ページについて質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（中村雅義君） 119ページ、120ページについて質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（中村雅義君） 2款、3款、4款全般について質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（中村雅義君） これで2款、3款、4款に関する質疑を終わります。

以上で保健福祉課、診療所所管の質疑を終了します。

暫時休憩します。

休憩 午前11時35分

再開 午後 1時23分

○委員長（中村雅義君） 休憩を閉じて審査を続けます。

10款教育費の説明をお願いします。

教育次長。

○教育次長（内山 渉君） 10款教育費の予算概要についてご説明させていただきます。

10款1項1目教育委員会費、本年度、前年同額の190万円でございます。この目については、教育委員報酬、旅費に関する予算を計上しております。この目については以上です。

次に、2目事務局費、本年度133万6,000円、前年比較28万2,000円の減であります。この目については、教育委員会事務局に係る予算を計上しております。この目については以上です。

次に、3目教育振興費、本年度4,041万8,000円、前年比較2,683万6,000円の増であります。次のページをお開きください。12節委託料、英語指導助手派遣事業委託料513万5,000円ですが、週5日町立各学校へ派遣する費用を計上しております。次に、14節工事請負費、町有住宅改修工事2,310万円ですが、現在の朱

鞠内小学校教員住宅1棟2戸を町有住宅へ用途変更し、山村留学者家族が使用する住宅へリフォームを行うものでございます。18節負担金、補助及び交付金、下から6段目、高等学校生徒下宿等補助204万円ですが、この制度は令和2年度までの時限立法としておりましたが、当初の目的である保護者の経済的負担の軽減を図り、修学機会を確保するため今後も必要な施策であることや保護者からも継続を望む声が多いことから、補助内容を変更しないで令和4年度まで延長することとし、令和3年度は17名分の予算を計上しております。次の山村留学推進協議会補助金437万円ですが、朱鞠内小学校山村留学推進協議会の補助金として事務費分5万円、事業費分として432万円を計上しております。事業費の内訳は、事前見学費の交通費助成分として96万円、面接試験時の交通費助成分として同額の96万円、入学時の引っ越しに関する交通等の助成分として240万円となっております。一番下の段になります。教職員住宅等住み替え移転費用助成金50万円ですが、教職員住宅等の建て替え等に伴う入居者に対する移転費用の一部として1件当たり10万円を助成するもので、令和3年度は朱鞠内地区と幌加内地区に建設されております民間賃貸住宅への住み替えに対して5件分を見込み予算計上しております。助成金を1件当たり10万円とした理由につきましては、民間賃貸住宅の入居時に負担する手数料などの一時金の金額を参考に、それを超えない範囲での決定としております。本助成制度については、教育委員会からのあっせん等によりお願いして移転をしていただける教職員を対象としており、円滑な教職員住宅や町有住宅などの整備を行うために住み替えを推進することを目的としておりますので、ご理解いただけますようお願いいたします。次に、19節扶助費、就学援助費ですが、8名分を見込んでおり、学用品費で49万9,000円、給食費で43万3,000円を予算計上しております。この目については以上です。

次に、4目学校営繕費、本年度500万6,000円、前年比較375万3,000円の減であります。こちらについては、特別修繕料が皆減となったことによる減額でございます。この目については以上です。

次に、2項1目学校管理費、本年度3,094万4,000円、前年比較2,022万8,000円の減であります。次のページをお願いします。12節委託料、下から4段目、ホームページ保守管理業務委託料66万円ですが、このたび朱鞠内小学校にて山村留学事業がスタートするに合わせ朱鞠内小学校及び幌加内小学校においてもホームページを整備し、学校の情報発信を行うこととなりましたので、必要経費を計上するものです。なお、幌加内中学校においても同様の対応を行うこととして中学校費で同様の予算措置をしておりますので、ご理解のほどよろしくお願いいたします。次に、17節備品購入費、一般備品購入費の内訳ですが、幌加内小学校関連として職員室及び校長室の椅子13脚の更新に36万2,000円、パソコン教室のデスク8台と椅子16脚の更新に73万5,000円、電波法の改正の対応としてハンド型ワイヤレスマイク1台の更新に4万円のほか、事務備品の更新に3万6,000円、あと朱鞠内小学校関連としまして刈払い機の更新に5万8,000円をそれぞれ行うこととして予算計上をしております。この目については以

上です。

次に、2目教育振興費、本年度735万4,000円、前年比較464万9,000円の減であります。この目については、小学校からの要望により各教科教材費、備品費の予算を計上しております。17節備品購入費、次のページをお願いします。教材用備品購入費613万3,000円ですが、令和元年度に北海道市町村備考資金組合の防災資機材の譲渡事業にて取得し、分割償還となった各小学校の教育ICT機器購入に係る返済分を予算計上しております。なお、返済期間は令和2年度から令和5年度の4年間になります。この目については以上です。

次に、3項1目学校管理費、本年度1,788万1,000円、前年比較2,383万9,000円の減であります。17節備品購入費、一般備品購入費34万4,000円の内訳ですが、パソコン教室用の椅子16脚の更新に31万7,000円、保健室の冷蔵庫1台の更新に2万7,000円をそれぞれ行うこととして予算計上しております。この目については以上です。

次のページお願いいたします。2目教育振興費、本年度751万6,000円、前年比較232万6,000円の増であります。この目については、中学校からの要望により各教科教材費、備品費の予算を計上しております。17節備品購入費、教材用備品購入費430万2,000円ですが、こちらも令和元年度に北海道市町村備考資金組合の防災資機材譲渡事業にて取得し、分割償還となりました中学校の教育ICT機器購入に係る返済分を予算計上しております。返済期間は令和2年から令和5年度の4年間になります。次の教師用教科書指導書購入費233万4,000円ですが、学習指導要領の改訂に伴う教科書の改訂により教師用教科書及び指導書の更新が必要となったため予算計上しております。この目については以上です。

次に、4項1目高等学校総務費、本年度2,332万3,000円、前年比較2,054万5,000円の減であります。次のページをお願いします。17節備品購入費、備品購入費28万5,000円の内訳ですが、電波法改正に対応するため多目的ホールにあるワイヤレスマイク2台の更新に10万1,000円、現在使用している手押し型草刈り機が老朽化により故障頻度が多くなったため更新することとし、18万4,000円、それぞれ購入することとして予算計上しております。この目については以上です。

次に、2目教育振興費、本年度1,048万6,000円、前年比較164万円の増であります。17節備品購入費、教材用備品購入費215万9,000円の内訳ですが、そば加工室のそばパウンドケーキ及び幌高商店会のベーカリー製品の冷却用の専用棚の購入に14万5,000円、穀物室の老朽化による洗濯機の更新に6万1,000円、同じく老朽化による衣類乾燥機及び設置備品の更新に8万円、以上の備品購入のための予算と令和2年度に北海道市町村備考資金組合の防災資機材譲渡事業にて取得し、分割償還となった高等学校ICT機器購入に係る返済分187万3,000円と合わせて予算計上しております。なお、返済期間は令和3年度から令和6年度の4年間となります。この目につい

ては以上です。

次に、3目寄宿舎費、本年度4,169万6,000円、前年比較586万9,000円の減であります。次のページお願いします。12節委託料、調理業務委託料ですが、昨年から寮での朝、夕食ほか昼食の給食についても調理を委託することとして予算を計上しております。委託料の内訳として、月額101万1,333円の12か月で年間1,213万6,000円、こちらが人件費の基本額でございます。その他食材賄い代として年間1,125万7,000円を見込んでおります。歳入につきましては、12款の寄宿舎使用料、19款の寄宿舎賄い費収入を充当しております。この目については以上です。

次に、4目魅力化支援事業費、本年度1,176万2,000円の皆増になってございます。この目は、地域留学推進のための高校魅力化資源事業関係の予算を計上しております。昨年度は、5月開催の臨時会にて補正予算として地域留学生募集に関する経費を計上させていただいており、今年度は募集に関する経費に加え、地域留学生を迎えるための経費について追加して計上させていただいております。まず、1節報酬、会計年度職員報酬300万円と3節職員手当、会計年度職員期末手当65万円及び4節共済費の社会保険料46万2,000円、こちらにつきましては高校魅力化コーディネーターに関する人件費を計上しております。10節需用費、消耗品費105万8,000円については、ふるさと納税返礼品の商品開発資材分61万7,000円と地域留学生に貸与する制服や寝具類の購入費44万1,000円を予算計上しております。次のページお願いします。12節委託料、動画作成業務委託料68万8,000円につきましては、高校PR動画の作成を行うこととして予算計上しております。次の留学生転入転出移転業務委託料36万8,000円については、地域留学生本人が居住地から幌加内町に転入及び転出する際の旅費についても国の補助対象となることから、航空券の発行等について旅行代理店に委託することとして予算計上しております。13節使用料及び賃借料、スキー用具類借り上げ料24万3,000円については、冬のスキー授業の際に地域留学生が使用するため業者より借り上げることとして予算計上をしております。17節備品購入費、備品購入費35万1,000円については、地域留学生の活動などの動画を処理し、イベント等に活用するため新たにパソコン1台を購入するものです。18節負担金、補助及び交付金、動画コンテンツ作成負担金50万円につきましては、内閣府から募集イベントの開催など広報に関して業務委託されている団体、地域教育魅力化プラットフォームにて募集専用のホームページにおいて新たに参加校それぞれに関する動画コンテンツを作成、それを掲載するため必要となる経費について一部負担を行うものとして予算計上しております。最後の地域留学生ホームステイ事業助成金42万円につきましては、地域留学生が寄宿舎平常時の対応としまして住民宅などへホームステイ体験を計画してありまして、現行の寄宿舎平常時生活指導助成制度と同等の助成を行うこととして予算計上しております。内訳は、1泊当たり3,000円として1人当たり35泊分を見込んでおり、4名分を計上しているところでございます。この目については以上です。

次に、5項1目学校給食費、本年度1,402万8,000円、前年比較1,037万7,000円の減であります。10節需用費、昼食賄い材料費609万5,000円ですが、本年度についても1食当たりの給食費の価格を据え置き、小学校で250円、中学校で304円とし、給食の提供を行ってまいります。次のページをお願いします。17節備品購入費、備品購入費98万5,000円ですが、厨房で使用するざるを載せる台車の更新に8万9,000円、昼食を配送するときに使用する食缶や保温コンテナ及び断熱容器の更新に73万4,000円、清掃衛生器具として業務用スチームクリーナーの購入に16万2,000円、以上を予算計上しております。この目については以上です。

次に、6項1目社会教育総務費、本年度520万4,000円、前年比較645万7,000円の減であります。次のページをお開きください。18節負担金、補助及び交付金、真ん中くらいにあります文化連盟活動補助金219万円ですが、8団体に対する助成金として29万円、生涯学習フェスティバル事業に10万円、映画上映などの芸術鑑賞会として60万円、芸術作品の鑑賞会に10万円、著名人などの講演会に110万円を予算計上しております。この目については以上です。

次に、2目公民館費、本年度3億2,163万1,000円、前年比較2億9,971万8,000円の増であります。10節需用費、特別修繕料119万8,000円ですが、後ほど14節の工事請負費でも説明させていただきます朱鞠内コミュニティセンター等耐震改修工事の一環としてコミセン2階の和室及び集会室のカーテンの取付け修理を行うこととしており、必要経費を予算計上しております。12節委託料、一番下にあります耐震改修工事实施設計業務委託料573万1,000円ですが、中央公民館における耐震改修工事实施に向けた設計業務委託を行うこととして予算計上しております。次のページお開きください。14節工事請負費、朱鞠内コミュニティセンター等耐震改修工事2億9,114万8,000円ですが、耐震不足を解消するための改修及び住民要望によるエレベーター設置や内装等の改修を行うこととして予算計上しております。なお、財源としましては辺地債を予定しているところでございます。17節備品購入費、備品購入費274万8,000円ですが、各地区からの要望としまして、まず朱鞠内コミセンの椅子180脚の更新一式215万8,000円、同じく朱鞠内コミセンの電気ポット1台の更新1万2,000円、母子里コミセンの掃除機1台の更新として2万円、朱鞠内コミセン等の耐震改修工事に伴う移動式簡易スロープの購入代として3万円、電波法改正に対応するため政和コミセンのワイヤレスマイクの更新21万1,000円と町民研修センターの住民研修室及び大講堂にあるワイヤレスマイクの更新に31万7,000円について予算計上しております。18節負担金、補助及び交付金、分館施設設備補助金の内訳ですが、自治区要望で東栄会館の外壁塗装の補助金として44万6,000円、そのほか通常分として30万円を計上しております。この補助金の補助率ですが、2分の1となっているところでございます。この目については以上です。

次に、3目生涯学習センター費、本年度3,220万7,000円、前年比較3,01

2万8,000円の減になります。次のページをお願いいたします。17節備品購入費、DVD購入費69万3,000円ですが、利用者のアンケートなどにより35本分の購入費として予算計上しております。生涯学習センター備品購入費31万7,000円ですが、電波法改正に対応するための移動式音響無線機のワイヤレスマイクと音楽交流室用のワイヤレスマイクの更新を行うため予算計上しております。図書購入費ですが、学校からの要望やアンケートを基に一般用として530冊、児童生徒用として350冊を購入することとして予算計上しております。この目については以上です。

次に、7項1目保健体育総務費、本年度374万1,000円、前年比較9万6,000円の増であります。18節負担金、補助及び交付金、スポーツ協会活動補助金77万8,000円の内訳ですが、13団体ありますが、13団体への活動助成として56万2,000円、各種大会開催分への助成として21万6,000円を支出することとして予算計上しております。この目については以上です。

次に、2目体育施設費、本年度5,492万7,000円、前年比較2,950万5,000円の減であります。10節需用費、次のページをお願いします。特別修繕料2,106万5,000円の内訳ですが、ほろたちスキー場のリフトの座面の取替え改修に167万4,000円、保安機器の交換に349万8,000円、ワイヤーロープの交換990万円に併せスキー場の圧雪車のオーバーホールなどの費用365万8,000円を整備計画に基づき実施するほか、老朽化により破損しております朱鞠内プールの屋上シートの工事に75万1,000円、電気保安点検のときに漏電のおそれがあるとされた山村広場の照明灯監視盤の改修工事に158万4,000円の6件を予算計上しているところでございます。次に、14節工事請負費、ほろたちスキー場ロッジ床改修工事191万4,000円ですが、ロッジのラウンジ部分の床シートの傷みが激しいので、張り替え工事を行うこととし、予算を計上しております。17節備品購入費、公用車購入費119万円ですが、スキー場のスノーモービルを老朽化により更新することとし、予算計上しております。18節負担金、補助及び交付金、ほろたちスキー場管理運営補助金2,200万円ですが、令和元年7月から令和6年6月までの5年間、指定管理契約により旭川市の株式会社ダンケジャパンと契約をしているところでございます。本年度においても経営努力に努め、安全運行について指導してまいります。この目については以上です。

次に、8項1目生活改善センター管理費、本年度413万3,000円、前年比較127万1,000円の増であります。12節委託料、次のページをお願いします。外壁アスベスト含有調査業務委託料142万7,000円ですが、沼牛生活改善センター分14万円と中央生活改善センター分128万7,000円の2か所の計上になります。沼牛生活改善センター分については、今後の修繕に向けた参考としての調査であり、中央生活改善センター分につきましては現在使用していただいているそば道場が本年5月に生涯学習センターへ移設することが予定されております。その後の中央生活改善センターについては建築年数が50年を超え老朽化が進んでおりますので、取り壊すこととして計画している

ところでは、今回は、解体費用の積算に必要なため外壁にアスベストが含有していないか調査を行うこととして予算計上しております。この目については以上です。

以上、10款教育費の説明を終わります。ご審議のほどよろしくお願いたします。

○委員長（中村雅義君） 説明が終わりましたので、事項別明細書155ページから質疑を受けます。10款教育費、155ページ、156ページについて質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（中村雅義君） 157ページ、158ページについて質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（中村雅義君） 159ページ、160ページについて質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（中村雅義君） 161ページ、162ページについて質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（中村雅義君） 163ページ、164ページについて質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（中村雅義君） 165ページ、166ページについて質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（中村雅義君） 167ページ、168ページについて質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（中村雅義君） 169ページ、170ページについて質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（中村雅義君） 171ページ、172ページについて質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（中村雅義君） 173ページ、174ページについて質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（中村雅義君） 175ページ、176ページについて質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（中村雅義君） 177ページ、178ページについて質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（中村雅義君） 179ページ、180ページについて質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（中村雅義君） 181ページ、182ページについて質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（中村雅義君） 10款教育費全般について質疑ありませんか。

3番、中南委員。

○3番（中南裕行君） 額は小さいのですけれども、お聞きしたいのですけれども、テレビの視聴料の関係なのですから、これはNHKの関係だと思ってしまうのですけれども、高等

学校総務費で3万3,000円、寄宿舎費で3万7,000円、学校給食費で1万5,000円、公民館費で7万3,000円、生涯学習センター費で5万1,000円、生活改善センター管理費で1万5,000円、どうしても割り切ったりできないのですけれども、それと高校にはあって、小学校、中学校には視聴料は発生しないのか、またテレビがないのかお聞かせ願いたいと思います。

○委員長（中村雅義君） 教育次長。

○教育次長（内山 渉君） 単純に割り切れない理由としては、2台目以降割引になっただけのものがありまして、単純には割り切れないというのが現状でございます。小学校、中学校で見えていないのが、すみません、改めて調べてご連絡させていただきたいと思っております。

○委員長（中村雅義君） そのほか10款教育費全般について質疑ありませんか。

6番、蔵前委員。

○6番（蔵前文彦君） GIGAスクール構想についてお聞きしたいと思います。

先日教育長の執行方針の中で触れられたと思うのですけれども、導入作業が間もなく完了するということだったので、現在の進捗状況と、あとこれから導入後どのような形で進めていくのか、分かる範囲で教えていただきたいと思っております。

○委員長（中村雅義君） 学務課長。

○学務課長（柏原 潤君） 現在の進捗状況であります。まずタブレット、1人1台端末なので、3月22日の週に納まる予定になっております。GIGAスクールサポーターというものを設置しまして、業者のほうに委託しているのですが、そちらのほうに各学校での機械の運用方法とか、その辺のサポート、ルールづくり、この辺を随時お願いしているところで、一応3月末には一通り完了することになっておりまして、実質新年度からの実働ということになってまいります。この先、先生方のほうは急な導入という感じになっておりますので、混乱を招くのではないかなと思っておりますので、その点業者等にも協力を仰ぎながらうまく回っていくように対応していきたいなというふうを考えております。

以上です。

○委員長（中村雅義君） そのほかに。

3番、中南委員。

○3番（中南裕行君） もう一点お伺いしたいのですけれども、今年度から高校に留学生が来ると思うのですけれども、やはり来た場合、幌加内の魅力を、いいところを持って帰っていただきたいと私は思うのです。それで、学校だけに任せておいていいのかということがあるのですけれども、その留学生、町外から来ている高校生も含めて、幌加内の魅力を何か町として発信していくような気持ちはあるのかなのかをお聞かせ願いたいのですけれども。

○委員長（中村雅義君） 教育次長。

○教育次長（内山 渉君） 高校魅力化支援事業につきましては、役場も含めまして協議会を立ち上げさせていただいているところでございます。そちらのほうで、幌加内町にせっかく来られている留学生の方々、生徒の方々、それも含めまして幌加内町の魅力を伝えていくような、そういったイベントやそういったものも考えていきたいなと考えているところでございます。

○委員長（中村雅義君） 10款教育費全般について。

9番、小川委員。

○9番（小川雅昭君） 1つお聞きしたいと思います。

政和、添牛内、朱鞠内、母子里のコミセンにWi-Fi環境を整えるというような気はございませんか。各災害時の避難場所として指定されており、若い人たちからも強い要望があり、また地元の人ばかりなく、通行途中の人たちも避難する可能性もあるので、私は整えていく必要があるのではないかなと思いますが、いかがでしょう。

○委員長（中村雅義君） 町長。

○町長（細川雅弘君） お答えします。

これは、町全体の公共施設にも言えるかと思えます。まだ私の頭の中だけなのですが、今回コロナ対策交付金で三次補正いただいたのですが、他市町村の事例を見ますと、各避難所だとか、そういったところにコロナ対策で情報を取得するためにWi-Fi整備の確立をするというような、そういった自治体もあるようでございます。そういった事例も参考にしながら、私自身はこの際進めたいかなという気はしているところでございます。

○委員長（中村雅義君） そのほかに10款教育費について質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（中村雅義君） これで10款に関する質疑を終わります。

以上で教育委員会所管の質疑を終わります。

暫時休憩します。

休憩 午後 2時00分

再開 午後 2時04分

○委員長（中村雅義君） 休憩を閉じて審査を続けます。

これから一般会計歳入の審査に入ります。

説明をお願いします。

総務課長。

○総務課長（村上雅之君） それでは、歳入を説明させていただきます。

予算書の10ページ、11ページをお願いいたします。1款町税でありますけれども、町民税、1目個人であります。本年度予算で8,595万9,000円、対前年度で1

2万4,000円の減となっております。過去3か年の平均により課税標準を作成しておりますので、31年度、令和元年度におきまして、また令和2年度農業所得の減が要因であります。

2目の法人であります。本年度予算で868万9,000円、対前年度で69万6,000円の増額となっております。業者数の44社は変わりませんが、これも3か年平均により積算をしております。

続きまして、2項固定資産税になります。本年度予算額6,832万9,000円で、対前年度で259万5,000円の増額となっております。家屋及び償却資産分で新築等の増額評価により増額となっているものであります。

2目の国有資産等所在市町村交付金ですが、本年度予算額475万4,000円、対前年度で7,000円の減額となっております。家屋の減価償却による減でございます。

続きまして、3項の軽自動車税になります。本年度予算額500万2,000円で、対前年度で14万円の増額となっております。これにつきましては、種別割と環境性能割分が別様になりまして、令和2年度の実績をベースに積算をしております。

次のページをお願いいたします。12ページ、13ページになります。4項たばこ税ですが、本年度予算額532万4,000円で、対前年度40万7,000円の増額となっております。令和2年度の実績に基づきまして、95%で積算しているものであります。

次に、5項の入湯税であります。本年度予算額195万3,000円で、対前年度68万3,000円の増額となっております。おとしからは、工事による閉館、さらに昨年度はコロナ禍による外出自粛などがありましたけれども、昨年4月にリニューアルオープンをいたしました。それを考慮いたしまして、平成30年の実績を基に23%の増で積算をして増額となっております。

次のページをお願いいたします。14ページ、15ページになります。2款地方譲与税、1項1目の地方揮発油譲与税から、ずっと飛びまして32ページ、33ページ、11款の分担金及び負担金につきましては、昨日の副町長の概要説明と同様ですので、説明については省略させていただきたいと思っております。

続きまして、もう一枚めくっていただきまして、34ページ、35ページをお願いいたします。12款の使用料及び手数料になります。最初に、1項の使用料であります。1目総務使用料ですが、本年度予算額807万円で、対前年度で95万5,000円の減額となっております。光情報通信設備使用料、これにつきましては各家庭における光インターネットの回線をつないだ場合の本町の光ケーブルの使用料を徴収しているものであります。その分で戸数の減少及び実績に歳入で90%で試算しているものであります。それにより、46万4,000円が減額となっております。また、一番下のほろみん号の使用料で過去実績により算出した結果、こちらも46万円の減額となったものであります。

2目につきましては特に説明はございません。

3目の衛生使用料であります。本年度予算9,280万7,000円で、対前年度で2

09万9,000円の減額となっております。幌加内診療所及び幌加内歯科診療所に係る診療報酬使用料を過去の実績に合わせて減額で見ているものであります。

続きましての4目、5目につきましては特に説明はございません。

次のページをお願いいたします。6目土木使用料でございますが、本年度予算で4,251万4,000円、対前年度で3,148万8,000円の減額となっております。ここにつきましては、住宅使用料を実績に合わせて減額したものであります。

続きまして、7目の教育使用料ですが、これにつきましては予算額で91万5,000円、昨年度対比で1万8,000円の減額となっておりますけれども、幌加内高等学校の生徒の減少による寄宿舎の使用料での減額を見ております。

2項手数料ですが、本年度の予算額2,078万1,000円で、対前年度545万9,000円の増額となっております。1目の総務手数料で94万6,000円、昨年から19万3,000円の減額となっておりますけれども、こちらにつきましては戸籍等の証明手数料の実績でその分を減額しているものであります。

2目の衛生手数料で本年度予算額1,799万9,000円で、対前年度537万4,000円の増額となっております。ここにつきましては、幌加内診療所の手数料でワクチン接種分510万円ほどを増額しております。また、一般廃棄物の処理手数料で60万8,000円の増を見込んでいるものであります。

その他3目、次のページをお願いいたします。4目の教育手数料につきましては特に説明はございません。

次のページをお願いいたします。13款国庫支出金になります。本年度予算額2億8,944万9,000円で、対前年度5,658万2,000円の減額となっております。1目の民生費国庫負担金であります。予算で5,411万7,000円、153万6,000円の減額となっております。これにつきましては、1節にあります介護給付訓練等給付費負担金で112万5,000円の増額、3節の保育所運営費負担金で211万5,000円の減額になっているものであります。

2目農林水産業費国庫負担金につきましては特に説明はございません。

3目衛生費国庫負担金ですが、これにつきましては新型コロナウイルスワクチン接種対策費国庫負担金の皆増となっているものであります。

続きまして、2項の国庫補助金になります。予算額で2億2,745万1,000円、対前年比で6,095万9,000円の減額であります。ここにつきましては、1目民生費の国庫補助金で子育て支援の対策事業費補助金で67万1,000円の減額であります。

次のページをお開きください。2目の衛生費国庫補助金のところで、この本年度予算額3,627万8,000円で、対前年比9,480万1,000円の減でありますけれども、ここにつきましては1節にあります新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業補助金、この分が皆増、2節のほうにあります循環型社会形成推進交付金、これは最終処分場の整備事業になりますけれども、こちらのほうで1億104万3,000円が減額と

なっているものであります。

続きまして、3目土木費国庫補助金であります。予算額で1億8,018万1,000円、対前年度2,664万7,000円の増額となっております。これにつきましては、社会資本整備総合交付金で橋の長寿命化、道路改良、公住等の解体事業で1,644万6,000円の減額、道路メンテナンス事業の補助金につきましては橋梁の長寿命化、修繕等で4,309万3,000円の皆増となっているものであります。

4目教育費国庫補助金でありますけれども、本年度予算額932万4,000円に対しまして、前年度対比で743万5,000円の増額となっております。これにつきましては、高等学校の高校魅力化支援事業、地方創生支援事業費補助金が928万8,000円皆増になっているものであります。

5目の総務費国庫補助金になります。予算額で52万3,000円で、対前年度42万3,000円の増となっております。ここにつきましては、個人番号カードの交付事業費の補助金、この増額をここで見ているものであります。

続きまして、3項の国庫委託金になります。予算額120万5,000円で、対前年度70万4,000円の減額であります。2目の民生費委託金で国民年金事務費委託金、こちらで24万5,000円の減額、1つ飛んでいただいて、年金生活者支援給付金業務市町村事務取扱交付金のほうで46万円の減額を見ているものであります。

次のページをお願いいたします。道支出金になります。本年度予算額2億1,447万8,000円で、対前年度1,071万円の増額となっております。1項1目で民生費道負担金、こちらのほうの予算額3,412万6,000円で、対前年度87万9,000円の減額となっております。こちらにつきましては、1節の介護給付訓練等給付費負担金で56万2,000円の増額、4節の保育所運営費負担金で108万9,000円の減額、5節の児童手当負担金で18万2,000円の減額となります。7節の国民健康保険基盤安定事業負担金のところで29万4,000円の減額、10節の低所得者保険料軽減負担金、こちらで17万円の増額が主な要因となっております。

次の2項道補助金になります。1目の民生費道補助金で今年度予算額559万7,000円で、対前年度41万7,000円の減額。次のページをお願いいたします。46ページ、47ページになります。上から順番に重度心身障害者医療費補助金、乳幼児等医療事務費補助金、乳幼児等医療費補助金、1つ飛んでいただいて、ひとり親家庭等医療費補助金、それから3つほど飛んでいただいて、低所得者利用者負担減免措置補助金、それからもう一つ飛んでいただいて、地域医療介護総合確保基金介護人材確保対策補助金でそれぞれ減額になっております。戻っていただき、地域生活支援事業補助金及び子育て支援対策事業費補助金については増額を見込んでいるものであります。

2目の衛生費道補助金については特に説明するところはありません。

3目農林水産業費道補助金であります。本年度予算額1億5,670万1,000円で、対前年度1,104万8,000円の増額となっております。環境保全型の農業直接

支払対策事業補助金で111万円の減額。次のページをお願いいたします。2行目にあります食料供給基盤強化特別対策事業補助金で335万円の増額、その下の多面的機能支払交付金で356万1,000円の増額、さらに下にあります農業経営高度化促進事業補助金で669万7,000円の増加が主な要因であります。2節にあります森林環境保全整備事業補助金につきましては155万1,000円の減額となっているものであります。

続きまして、4目にあります総務費補助金であります。こちらにつきましては中間サーバ・プラットフォーム交付金で148万8,000円の減額、地域づくり総合交付金、防災の関係で50万円が皆増となっております。なお、こちらには昨年ハザードマップの作成業務補助がありましたけれども、その分は皆減となっているものであります。

続きまして、5目につきましては特に説明するものはございません。

3項の道委託金になります。1目の総務費委託金で本年度予算額787万5,000円で、対前年度285万円の増額となっておりますけれども、こちらにつきましては衆議院議員の選挙事務委託金が皆増になっているものが主な要因であります。なお、昨年度この目にありました国勢調査につきましては昨年度で終了しておりますので、その分が皆減となっているものであります。

その他このページ及び次のページの50ページ、51ページにつきましても特に説明するものはございません。

52ページ、53ページをお願いいたします。15款の財産収入になります。本年度予算3,076万円で、対前年度1,641万4,000円の増額となっております。要因といたしましては、1目の財産貸付収入で65万5,000円の減額、これにつきましては各貸付物の実績に合わせた減額を見ているものであります。

2目の利子及び配当金につきましては、積立て基金の減額等による利子配当の減額でございます。

次のページをお願いいたします。54ページ、55ページになります。2項の1目、2目につきましては特に説明するものはございません。

3目の生産物売払収入であります。今年度の予算額2,105万3,000円で、対前年度で1,790万7,000円の増額となっております。これにつきましては、パーク堆肥の売払いで18万円の増を見っております。同じく4行目にあります竹木の売払収入、こちらのほうで今年度皆伐予定のほろたちスキー場裏側、こちらの立木の売払収入で1,773万円を見込んでの増となっているものであります。

次のページをお願いいたします。16款寄附金になります。1目については特に説明はございません。

2目使途指定寄附金であります。本年度予算額4,500万1,000円で、対前年度2,000万円の増額となっております。ふるさと納税のところで実績及び目標設定に基づき金額の増を見込んでおります。

次のページをお願いいたします。繰入金であります。この分につきましては本年度予

算額が4億8,104万9,000円ということで、対前年度で5,292万1,000円となっております。ここにつきましては、減債基金で5,719万6,000円の増額。なお、こちらでは公共施設等の整備基金、こちらで3,230万円の増額、昨年度ありました森林環境譲与税基金の541万5,000円につきましては皆減となっているのが要因であります。

次のページをお願いいたします。60ページ、61ページになります。18款の繰越金になります。ここにつきましては、特に説明するものはございません。

次のページ、62ページ、63ページをお願いいたします。諸収入ですが、本年度予算額6,406万8,000円で、対前年度261万9,000円の増額となっております。このページ及び次のページを飛ばしていただき、66、67ページをお願いいたします。8節のところの通所介護給付費で、こちらのほうで292万5,000円の増額となっているものが大きな要因であります。その他特に説明するものはございません。

次のページ、68ページ、69ページをお願いいたします。20款の町債であります。本年度の予算額で7億6,400万円で、対前年度1億3,800万円の増額となっております。主な要因でありますけれども、1目総務債では集落整備事業債で110万円の増額、道営林業生産基盤整備道開設事業債で580万円の増額。なお、昨年ここにありました公共交通整備運営事業債1,000万円は皆減しています。

続きまして、2目の民生債のところでありますけれども、こちらにつきましては生活環境安全対策事業債のところ810万円の減額、子育て支援対策事業債で50万円の減額となっているものであります。

3目衛生費であります。こちらでは一般廃棄物処理場の整備事業債で8,070万円の増額となっております。

4目の農林水産業債であります。昨年ここにありました色彩選別機整備事業債の7,230万円は皆減となっております。道営幌加内中部地区経営体育成基盤整備事業債で410万円の減額となっております。

5目商工債になります。既存のプレミアム付商品券発行事業債につきましては100万円の増額を見ております。政和温泉周辺観光整備事業債の490万円については皆増となっております。昨年ここにありました朱鞠内湖畔の周辺観光整備事業債については皆減となっております。

次に、6目土木債になります。こちらでは、橋梁補修事業債で1,330万円の増額となっております。また、次の河川改修事業債、こちらのほうでは1,550万円が皆増となっております。その下の町道側溝整備事業債も皆増となっております。その下、下幌加内線道路改良事業債につきましては1,780万円の増額となっております。

次のページをお願いいたします。70ページ、71ページになります。7目消防債であります。昨年度は土別地方消防事務組合への移管に伴います負担金債がありましたけれども、今年度はその2,390万円が減額となっております。さらに、道の総合行政情報

ネットワーク整備事業債360万円もございましたが、今年度は皆減となっているものがあります。

8目教育債であります。昨年度は町民プールの建設事業、それからスクールバスの購入事業債がありましたが、2つとも皆減となっております。今年度につきましては、スキー場の改修事業に270万円の増額、中央公民館の耐震改修事業債で540万円の皆増、それから朱鞠内コミュニティセンター等耐震改修事業債で2億7,650万円が皆増となっているものであります。

9目の臨時財政対策債につきましては、3,000万円が増額となっているものであります。

まとめますと、過疎債で13件、1億3,270万円、辺地債で2件、3億3,790万円、一般廃棄物の事業債で1件、1億9,790万円、臨時財政対策債で1件、8,000万円、河川等の浚渫事業債1件で1,550万円となっているものであります。詳細につきましては、予算書の6ページの第3表、地方債に載せておりますので、後ほどお目通しをお願いしたいと思います。

以上で一般会計歳入の説明を終わります。ご審議のほどよろしくお願いたします。

○委員長（中村雅義君） 説明が終わりましたので、事項別明細書、歳入、10ページから質疑をお受けします。10ページ、11ページについて質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（中村雅義君） 12ページ、13ページについて質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（中村雅義君） 14ページ、15ページについて質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（中村雅義君） 16ページ、17ページについて質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（中村雅義君） 18ページ、19ページについて質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（中村雅義君） 20ページ、21ページについて質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（中村雅義君） 22ページ、23ページについて質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（中村雅義君） 24ページ、25ページについて質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（中村雅義君） 26ページ、27ページについて質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（中村雅義君） 28ページ、29ページについて質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

- 委員長（中村雅義君） 30ページ、31ページについて質疑ありませんか。
（「なし」の声あり）
- 委員長（中村雅義君） 32ページ、33ページについて質疑ありませんか。
（「なし」の声あり）
- 委員長（中村雅義君） 34ページ、35ページについて質疑ありませんか。
（「なし」の声あり）
- 委員長（中村雅義君） 36ページ、37ページについて質疑ありませんか。
（「なし」の声あり）
- 委員長（中村雅義君） 38ページ、39ページについて質疑ありませんか。
（「なし」の声あり）
- 委員長（中村雅義君） 40ページ、41ページについて質疑ありませんか。
（「なし」の声あり）
- 委員長（中村雅義君） 42ページ、43ページについて質疑ありませんか。
（「なし」の声あり）
- 委員長（中村雅義君） 44ページ、45ページについて質疑ありませんか。
（「なし」の声あり）
- 委員長（中村雅義君） 46ページ、47ページについて質疑ありませんか。
（「なし」の声あり）
- 委員長（中村雅義君） 48ページ、49ページについて質疑ありませんか。
（「なし」の声あり）
- 委員長（中村雅義君） 50ページ、51ページについて質疑ありませんか。
（「なし」の声あり）
- 委員長（中村雅義君） 52ページ、53ページについて質疑ありませんか。
（「なし」の声あり）
- 委員長（中村雅義君） 54ページ、55ページについて質疑ありませんか。
（「なし」の声あり）
- 委員長（中村雅義君） 56ページ、57ページについて質疑ありませんか。

3番、中南委員。

- 3番（中南裕行君） ふるさと納税寄附金についてお伺いしたいのですけれども、昨日も私聞いたところでございますけれども、謝品で2,500万円見ていると。送料を交えて50%までが合法で、それ以上になれば駄目だというふうに答えがあったと思うのですけれども、このままで予算書を見ると50%を超しているのですけれども、こういう予算書でいいものかどうかお伺いしたいのですけれども。ここでは、やはり5,000万円見るのでしたら5,000万円というふうに見るべきではないかと私は思うのですけれども。
- 委員長（中村雅義君） 副町長。
- 副町長（大野克彦君） ふるさと納税の歳入と歳出の予算の関係なのですからけれども、委

員のおっしゃるとおり歳出については5,000万円ということで支出の経費を組んでおりますけれども、歳入については予算割れしないようにということで少なめに見ております。決算上はとんとんになるのですけれども、予算に関してはあくまでも歳入歳出は少なめに見るというのを原則で行っておりますので、少なめに見ているということであります。

以上です。

○委員長（中村雅義君） 56ページ、57ページについて質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（中村雅義君） 58ページ、59ページについて質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（中村雅義君） 60ページ、61ページについて質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（中村雅義君） 62ページ、63ページについて質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（中村雅義君） 64ページ、65ページについて質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（中村雅義君） 66ページ、67ページについて質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（中村雅義君） 68ページ、69ページについて質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（中村雅義君） 70ページ、71ページについて質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（中村雅義君） 歳入全般について質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（中村雅義君） 質疑なしと認めます。

これをもって一般会計の質疑を終わります。

◎延会の議決

○委員長（中村雅義君） 委員の皆様にお諮りします。

本日の委員会をこの程度にとどめ、延会したいと思います。これにご異議ございませんか。

（「異議なし」の声あり）

○委員長（中村雅義君） したがって、本日はこれで延会することに決定しました。

◎延会の宣告

○委員長（中村雅義君） これで本日の委員会を閉じます。

延会 午後 2時39分